

小児がん連携病院一覧

病院名	所在地・電話番号	ホームページアドレス
千葉県がんセンター	千葉市中央区仁戸名町666-2 043-264-5431	https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/
千葉大学医学部附属病院	千葉市中央区亥鼻1-8-1 043-222-7171	https://www.ho.chiba-u.ac.jp/
日本医科大学千葉北総病院	印西市鎌苅1715 0476-99-1111	https://www.nms.ac.jp/hokuso-h/
成田赤十字病院	成田市飯田町90-1 0476-22-2311	https://www.narita.jrc.or.jp/
QST病院	千葉市稲毛区穴川4-9-1 043-206-3306	https://www.nirs.qst.go.jp/hospital/
千葉県こども病院	千葉市緑区辺田町579-1 043-292-2111	https://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo/

がんゲノム医療中核拠点病院

病院名	所在地・電話番号	ホームページアドレス
国立がん研究センター東病院	柏市柏の葉6-5-1 04-7133-1111	https://www.ncc.go.jp/jp/nccc/index.html

がんゲノム医療拠点病院

病院名	所在地・電話番号	ホームページアドレス
千葉県がんセンター	千葉市中央区仁戸名町666-2 043-264-5431	https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/

がんゲノム医療連携病院一覧

病院名	所在地・電話番号	ホームページアドレス
千葉大学医学部附属病院	千葉市中央区亥鼻1-8-1 043-222-7171	https://www.ho.chiba-u.ac.jp/
君津中央病院	木更津市桜井1010 0438-36-1071	http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp/
船橋市立医療センター	船橋市金杉1-21-1 047-438-3321	https://www.mmc.funabashi.chiba.jp/
旭中央病院	旭市イ1326 0479-63-8111	https://www.hospital.asahi.chiba.jp/
順天堂大学医学部附属浦安病院	浦安市富岡2-1-1 047-353-3111	https://www.hospurayasu.juntendo.ac.jp/
亀田総合病院	鴨川市東町929 04-7092-2211	https://medical.kameda.com/general/patient/index.html

千葉県がん診療連携協力病院一覧

令和5年4月1日現在

二次保健医療圏	病院名	所在地・電話番号	ホームページアドレス
千葉	千葉メディカルセンター (胃がん・大腸がん)	千葉市中央区南町1-7-1 043-261-5111	http://www.seikeikai-cmc.jp/
	千葉市立海浜病院 (胃がん・大腸がん)	千葉市美浜区磯辺3-31-1 043-277-7711	https://hospital.city.chiba.jp/kaihin/
	千葉市立青葉病院 (胃がん・大腸がん)	千葉市中央区青葉町1273-2 043-227-1131	https://hospital.city.chiba.jp/aoba/
東葛南部	千葉県済生会習志野病院 (胃がん・大腸がん)	習志野市泉町1-1-1 047-473-1281	http://www.chiba-saiseikai.com/
	谷津保健病院 (胃がん・大腸がん・乳がん)	習志野市谷津4-6-16 047-451-6000	https://www.yatsu.or.jp/
	東京女子医科大学附属 八千代医療センター (胃がん・大腸がん・肺がん・ 肝胆膵がん・乳がん)	八千代市大和田新田477-96 047-450-6000	https://www.twmu.ac.jp/TYMC/
	船橋中央病院 (胃がん・大腸がん)	船橋市海神6-13-10 047-433-2111	https://funabashi.jcho.go.jp/
	千葉徳洲会病院 (胃がん・大腸がん・肝胆膵がん・ 子宮がん)	船橋市高根台2-11-1 047-466-7111	https://www.chibatoku.or.jp/
東葛北部	千葉西総合病院 (胃がん・大腸がん・肝胆膵がん)	松戸市金ヶ作107-1 047-384-8111	http://www.chibanishi-hp.or.jp/
	新松戸中央総合病院 (胃がん・大腸がん・肝胆膵がん)	松戸市新松戸1-380 047-345-1111	https://www.shinmatsudo-hospital.jp/
	小張総合病院 (胃がん・大腸がん)	野田市横内29-1 04-7124-6666	https://kobari.or.jp/
	新東京病院 (胃がん・大腸がん)	松戸市和名ヶ谷1271 047-711-8700	https://www.shin-tokyohospital.or.jp/
印旛	東邦大学医療センター佐倉病院 (胃がん・大腸がん・子宮がん)	佐倉市下志津564-1 043-462-8811	https://www.sakura.med.toho-u.ac.jp/
	聖隷佐倉市民病院 (胃がん・大腸がん)	佐倉市江原台2-36-2 043-486-1151	https://www.seirei.or.jp/sakura/
	国際医療福祉大学成田病院 (肝胆膵がん・乳がん)	成田市畑ヶ田852 0476-35-5600	https://naritahospital.iuhw.ac.jp/

資料 7

がん相談支援センター一覧

病院名および相談窓口	電話番号	対応（曜日・時間）
千葉県がんセンター がん相談支援センター（患者総合支援センター内）	043-264-6801 （直通）	月～金 9時00分～17時00分
千葉大学医学部附属病院 がん相談支援センター （患者支援センター内）	043-226-2698 （直通）	月～金 9時30分～16時30分
千葉医療センター がん相談支援センター（地域医療連携室内）	043-251-5320 （直通）	月～金 9時00分～16時00分
船橋市立医療センター がん相談支援センター	047-438-3321 （代表）	月～金 9時00分～17時00分
東京歯科大学市川総合病院 がん相談支援センター	047-322-0151 （代表）	月～金 9時00分～17時00分 土（第2を除く） 9時00分～12時00分
順天堂大学医学部附属浦安病院 がん相談支援センター	047-382-1341 （直通）	月～金 9時00分～16時30分 土（第2を除く） 9時00分～12時30分
国立がん研究センター東病院サポーターズケアセンター／がん相談支援センター	04-7134-6932 （直通）	月～金 8時30分～17時15分
東京慈恵会医科大学附属柏病院 がん相談支援センター	04-7167-9739 （直通）	月～土（土曜日は面談のみ） 9時00分～16時00分
松戸市立総合医療センター がん診療対策室（がん相談支援センター）	047-712-2511 （代表）	月～金 8時30分～17時00分
日本医科大学千葉北総病院 がん相談支援センター	0476-99-2057 （直通）	月～金 9時00分～16時00分 土 9時00分～15時00分
成田赤十字病院 がん相談支援センター（医療福祉相談室）	0476-22-2311 （代表）	月～金 9時00分～16時00分
旭中央病院 がん相談支援センター（医療連携福祉相談室）	0479-63-8111 （代表）	月～金 8時30分～17時15分
さんむ医療センター がん相談支援センター	0475-82-2521 （代表）	月～金 8時30分～17時15分
亀田総合病院 がん相談支援センター（総合相談室）	04-7092-2211 （代表）	月～金 9時00分～16時00分 土 9時00分～11時00分
君津中央病院 がん相談支援センター	0438-36-1071 （代表）	月～金 9時00分～17時00分
千葉ろうさい病院 がん相談支援センター	0436-74-1111 （代表）	月～金 9時00分～16時00分

資料8

がんに関する情報のホームページリンク集

- 千葉県がん情報 ちばがんナビ <http://www.pref.chiba.lg.jp/pbgnv/>
- 医療情報ネット（厚生労働省ホームページ）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/teikyouseido/index.html
- 国立がん研究センター <http://www.ncc.go.jp/jp/>
- 国立がん研究センターがん対策研究所 <http://www.ncc.go.jp/jp/cis/index.html>
- 国立がん研究センターがん情報サービス <http://ganjoho.jp/public/index.html>
- 日本対がん協会 <http://www.jcancer.jp/>
- 厚生労働省（がん対策情報）
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/gan/index.html
- 千葉県健康づくり支援課 <http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/index.html>
- 千葉県がんセンター <https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>
- 公益財団法人ちば県民保健予防財団 <http://www.kenko-chiba.or.jp/>
- 千葉県がん診療連携協議会
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/center/gaiyo/tibakengansinryorenkeikyogikai.html>
- 第4期がん対策推進基本計画
 - ・ 本文 <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001138884.pdf>
 - ・ ロジックモデル <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001138889.pdf>
 - ・ 指標一覧 <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001138890.pdf>
- 千葉県保健医療計画
(仮) <https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/30hokeniryuu.html>
- 千葉県医師会 <https://www.chiba.med.or.jp/index.html>
- 千葉県歯科医師会 <https://www.cda.or.jp/>
- 千葉県薬剤師会 <https://www.c-yaku.or.jp/>
- 千葉県看護協会 <https://www.cna.or.jp/index.html#top>

千葉県がん対策に関するアンケート調査結果

本調査は、第4期千葉県がん対策推進計画の策定に当たり、がん患者等の現状への認識及び将来への要望を把握し、計画の評価や目標の見直し等、今後のがん対策の方向性を検討していくための資料として活用することを目的として実施したものです。

- 【1 調査対象】 ① 県内のがん患者団体会員 330人
 ② 県内のがん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院を利用するがん患者 2,350人
- 【2 調査期間】 令和5年11月～12月
- 【3 調査方法】 ● 各患者団体及び各病院より調査票を説明・配布
 ● 回答者は、ちば電子申請システムによるオンライン又は郵送により回答
- 【4 回答状況】 ① 330人に配布したうち、79人が回答（回答率23.9%） ※調査期間内に回答があった方
 ② 2,350人に配布したうち、616人が回答（回答率26.2%） ※調査期間内に回答があった方
 （なお、県ホームページには、期限後に回答頂いたものも合わせて集計して公表します。）

【5 調査項目】

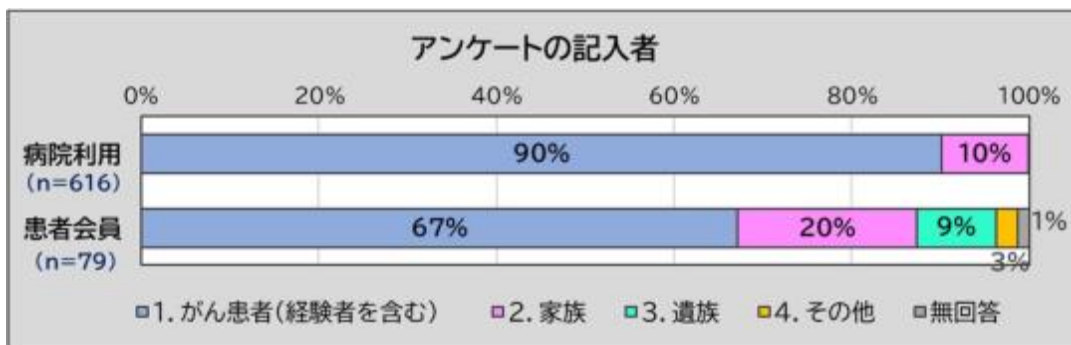
質問項目	質問番号		質問内容	回答方法
	問	病院利用 患者会員		
1 記入者について	問	1-1 1	アンケートの記入者	一つ選択
	問	1-2	家族が回答する理由	一つ選択
2 患者さんについて	問	2 2	患者さんの年齢	一つ選択
	問	3 3	患者さんの性別	一つ選択
	問	4 4	居住地域	一つ選択
	問	5-1	医療機関のかかり方	一つ選択
	問	5-2	現在のがん治療の状況	一つ選択
	問	5-3	現在のがん治療の状況	一つ選択
	問	6 5	最初のがんと診断された満年齢	一つ選択
	問	7 6	最初に診断されたがんの種類	複数選択
	問	8 7	最初に診断されたがんが発見された状況	一つ選択
	問	9 8	これまでに受けた治療の種類	複数選択
3 医療提供体制について	問	10 9	医療関係者から病気や治療についての説明を受けたか	一つ選択
	問	11 10	「セカンド・オピニオン」について、どのように説明されたか	一つ選択
	問	12 11	「セカンド・オピニオン」が必要だと思うか	一つ選択
	問	13 17	治療終了後、経過観察で通院したい医療機関	一つ選択
4 緩和ケアについて	問	14 18	緩和ケアについての認識	複数選択
	問	15-1 19-1	緩和ケアを受けた経験	一つ選択
	問	15-2 19-2	提供された緩和ケアに対する満足度	一つ選択

質問項目	質問番号		質問内容	回答方法	
	問	病院利用 患者会員			
5 在宅医療について	問	16	20	積極的な治療を行わず緩和ケアに専念する場合、過ごしたい場所	一つ選択
	問	17	21	最期を迎えたい場所	一つ選択
	問	18-1	22-1	自宅で過ごすことを想定した場合、充実を望むサービス	複数選択
	問	18-2	22-2	自宅で過ごすことを想定した場合、心配や不安を感じる事	複数選択
6 相談支援・ 情報提供について	問	19	23	がんの診断や治療の悩み	複数選択
	問	20		がんの治療の副作用として経験した外見の変化	複数選択
	問	21-1	24-1	「がん相談支援センター」を利用したことはあるか	一つ選択
	問	21-2	24-2	「がん相談支援センター」を利用して役立ったと思うか	一つ選択
	問	21-3	24-3	「がん相談支援センター」の取組に対する認識	一つ選択
	問	21-4	25-1	ピア・サポート活動の認知度	一つ選択
	問		25-2	ピア・サポート活動についてどう考えるか	一つ選択
	問	22	26	がんに関する情報の入手先	複数選択
7 就労について	問	23	27	千葉県がん情報「ちばがんナビ」の認知度	一つ選択
	問	24	12	最初にかんと診断された時の就労状況	一つ選択
	問	25	13	診断時の職業	一つ選択
	問	26	14	診断時の職場との関係	一つ選択
	問	27	15	診断時の仕事を継続することに対する事業主の理解・支援	一つ選択
8 がん検診について	問	28	16	治療と仕事の両立など、就労に関する相談先	複数選択
	問	29	28	がん検診についての認識	一つ選択
	問	30	29	がん検診を受診しやすくするために必要なサービス等	複数選択
9 がん教育について	問	31	30	がん検診の受診率向上の取組で知っているもの	複数選択
	問		31	「がん教育」で子どもたちに伝えたいこと	複数選択
10 がん登録について	問	32	32-1	「全国がん登録事業」に対する認識	一つ選択
	問	33	32-2	「全国がん登録事業」に期待すること	複数選択
11 がん対策に関する 県への要望について	問	34	33	県として力を入れてほしいがん対策	複数選択
	問	35	34	その他、県のがん対策についての意見	自由記載

1 記入者について

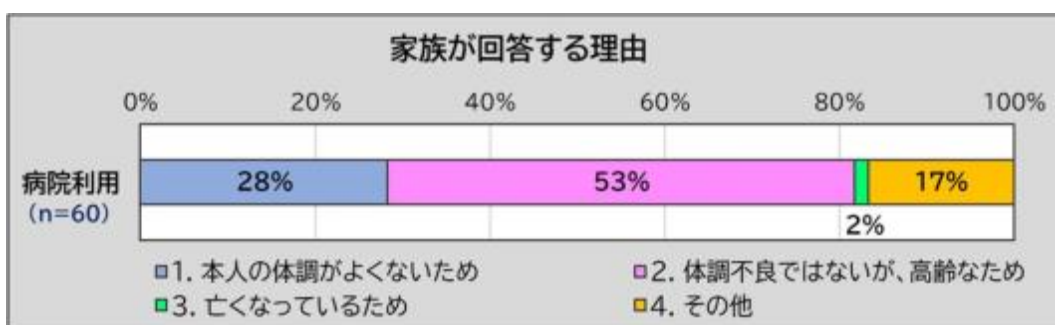
問1-1(患者会員 問1)

アンケートの記入者 (一つ選択)



問1-2(病院利用のみ)

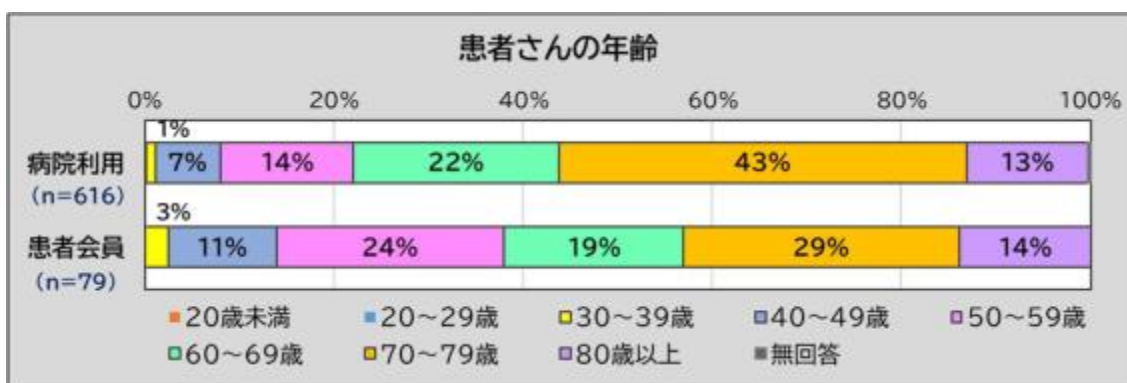
(前質問で「家族」と答えた方に質問)家族が回答する理由 (一つ選択)



2 患者さんについて

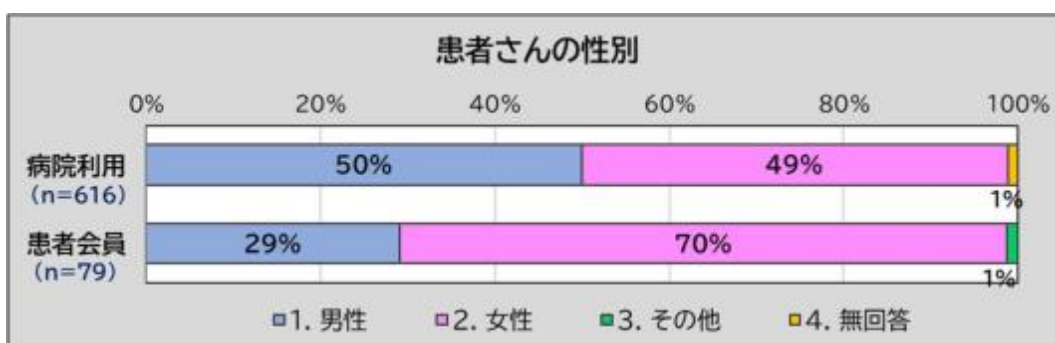
問2(患者会員 問2)

患者さんの年齢 (一つ選択)



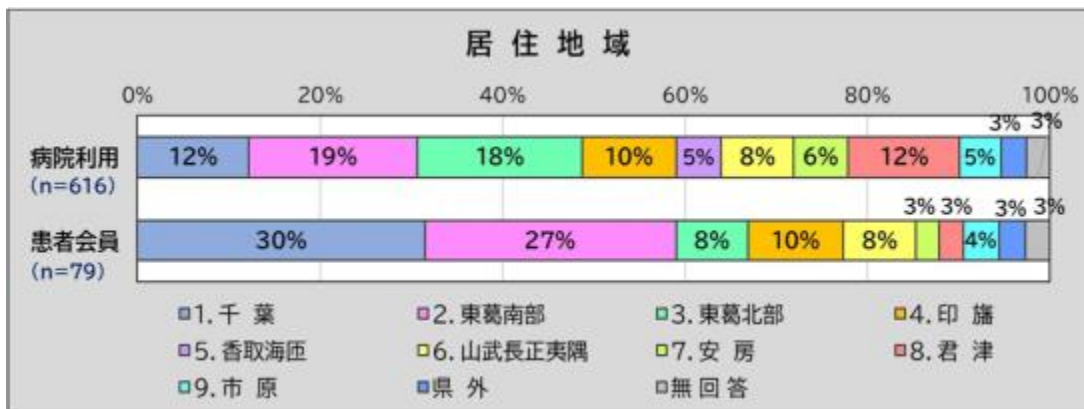
問3(患者会員 問3)

患者さんの性別 (一つ選択)



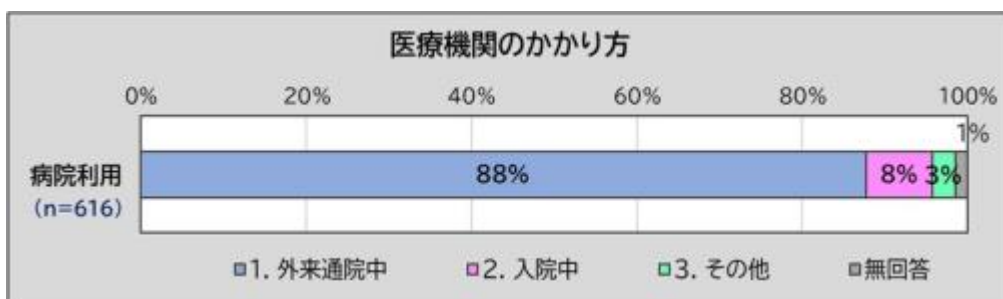
問4(患者会員 問4)

居住地域 (一つ選択)



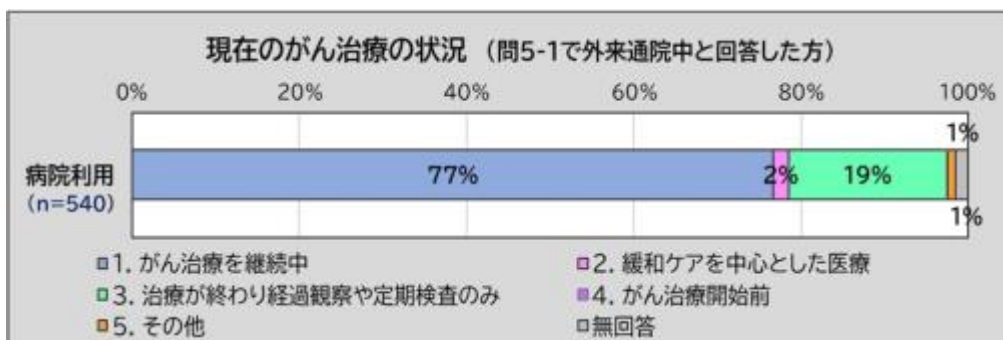
問5-1(病院利用のみ)

医療機関のかかり方 (1. 外来通院中 2. 入院中 3. その他)



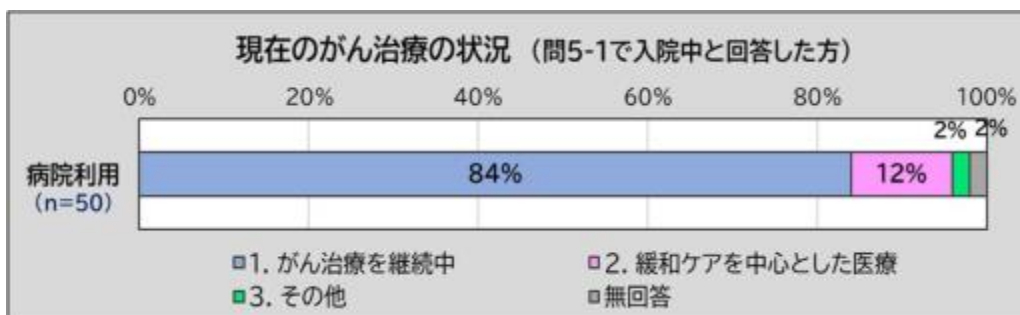
問5-2(病院利用のみ)

問5-1で「外来通院中」と答えた方に質問 … がん治療の状況 (一つ選択)



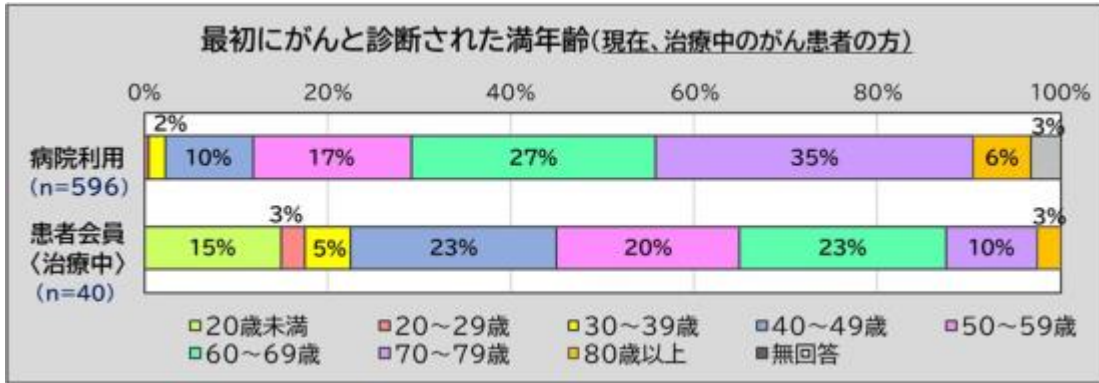
問5-3(病院利用のみ)

問5-1で「入院中」と答えた方に質問 … がん治療の状況 (一つ選択)



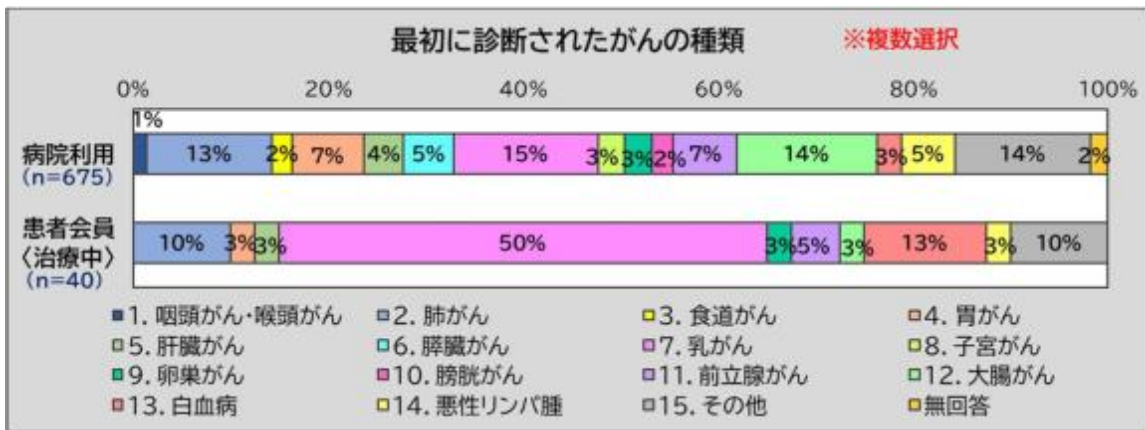
問6(患者会員 問5)

最初にがんと診断された満年齢



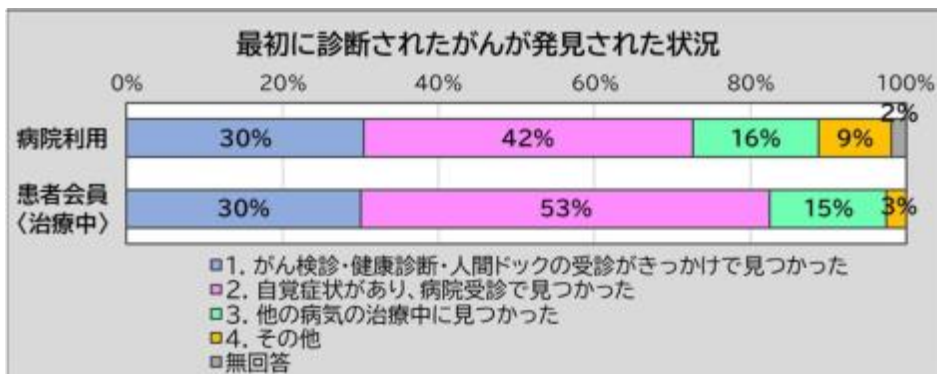
問7(患者会員 問6)

最初に診断されたがんの種類 (複数選択)



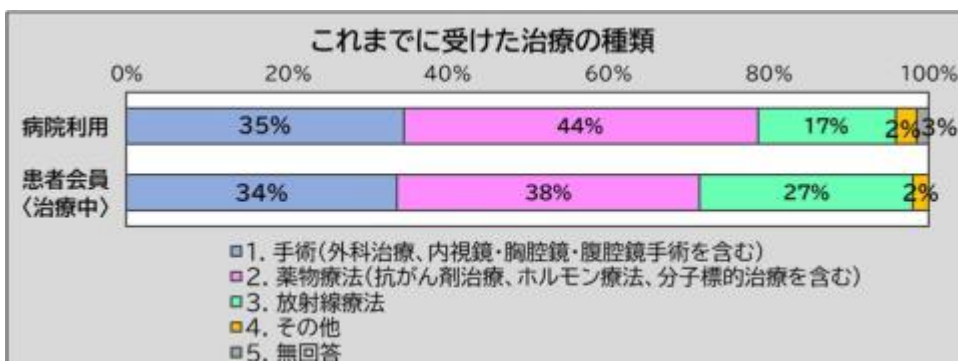
問8(患者会員 問7)

最初に診断されたがんが発見された状況 (一つ選択)



問9(患者会員 問8)

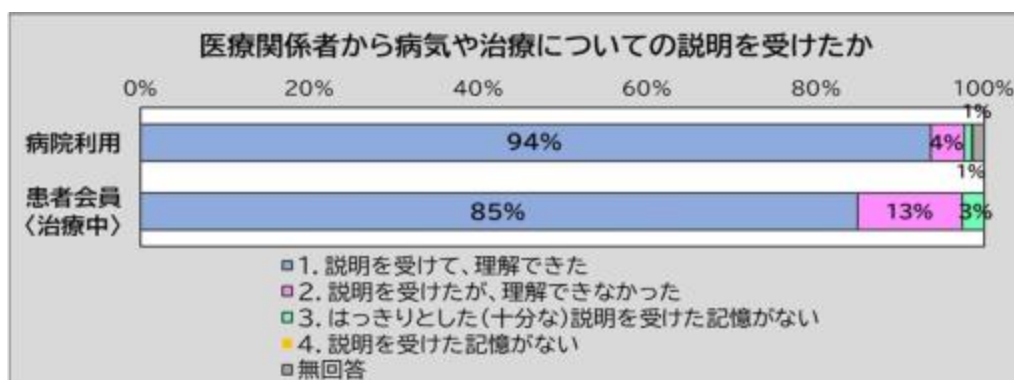
これまでに受けた治療の種類 (複数選択)



3 医療提供体制について

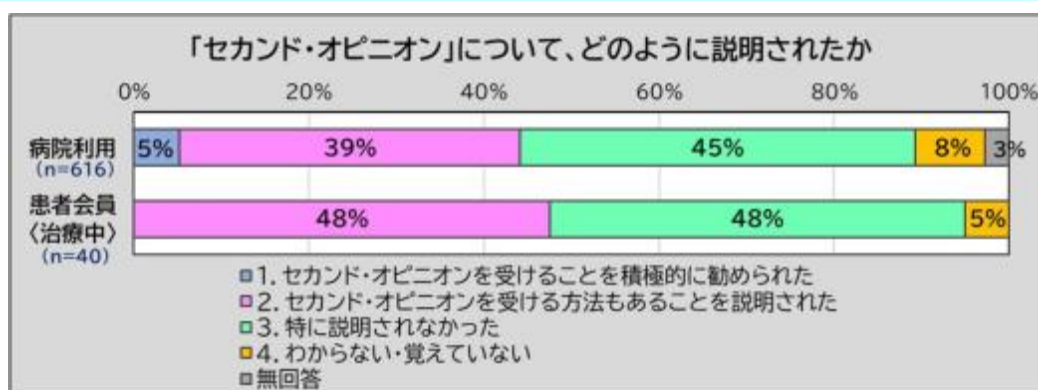
問10(患者会員 問9)

医療関係者から病気や治療についての説明を受けたか（一つ選択）



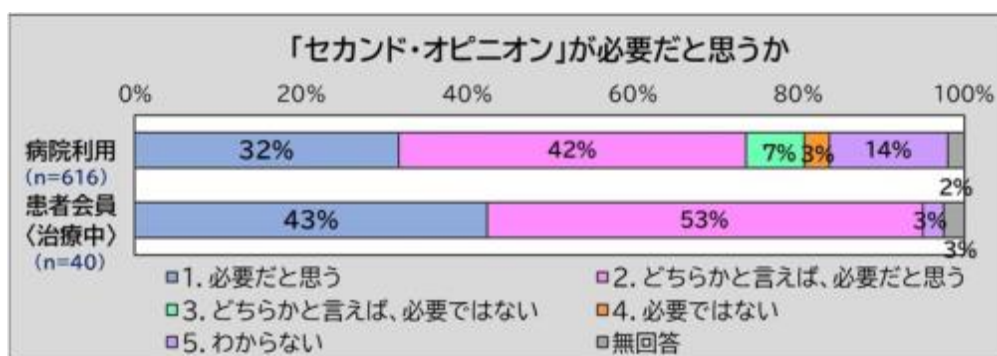
問11(患者会員 問10)

「セカンド・オピニオン」について、どのように説明されたか（一つ選択）



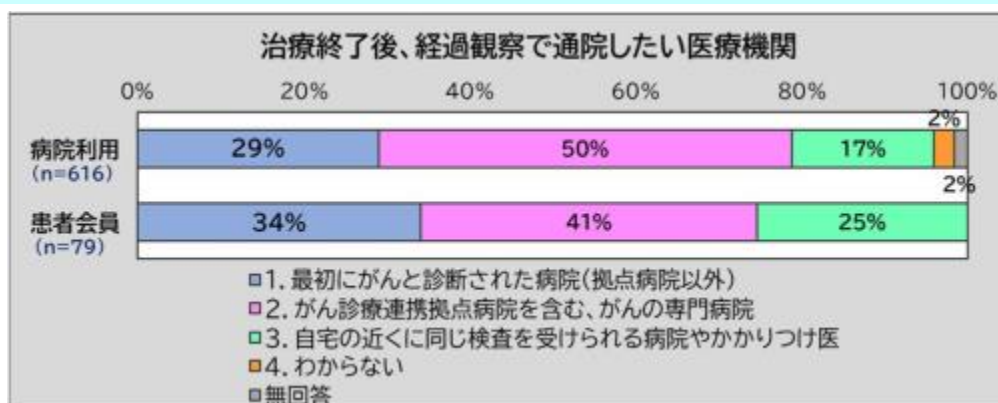
問12(患者会員 問11)

「セカンド・オピニオン」が必要だと思うか（一つ選択）



問13(患者会員 問17)

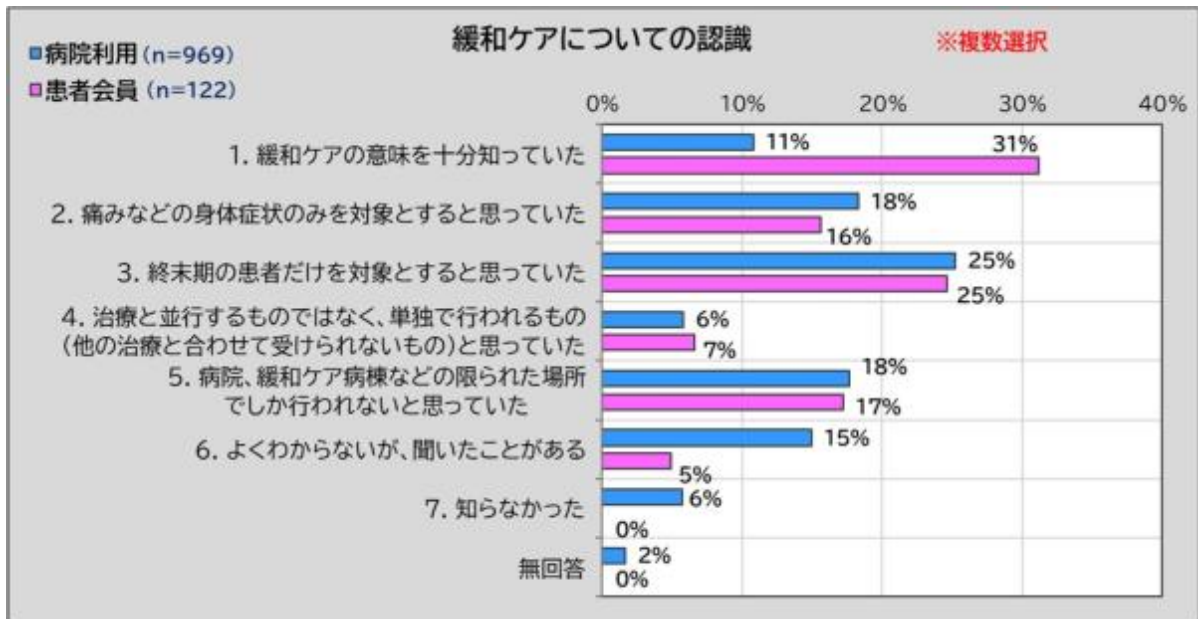
治療終了後、経過観察で通院したい医療機関（一つ選択）



4 緩和ケアについて

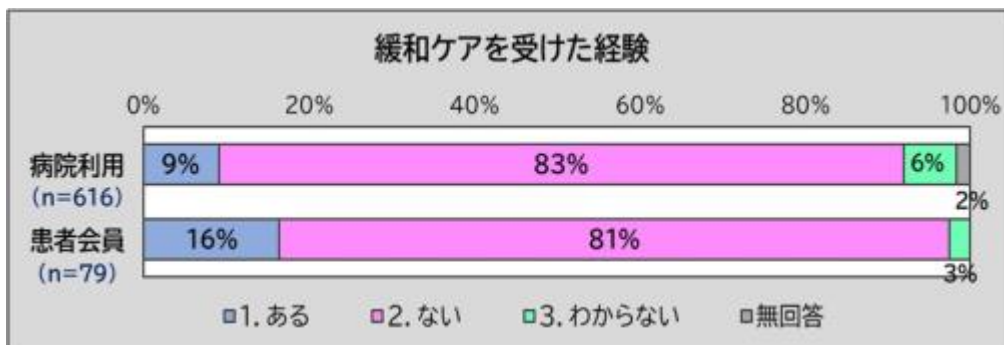
問14(患者会員 問18)

緩和ケアについての認識 (複数選択)



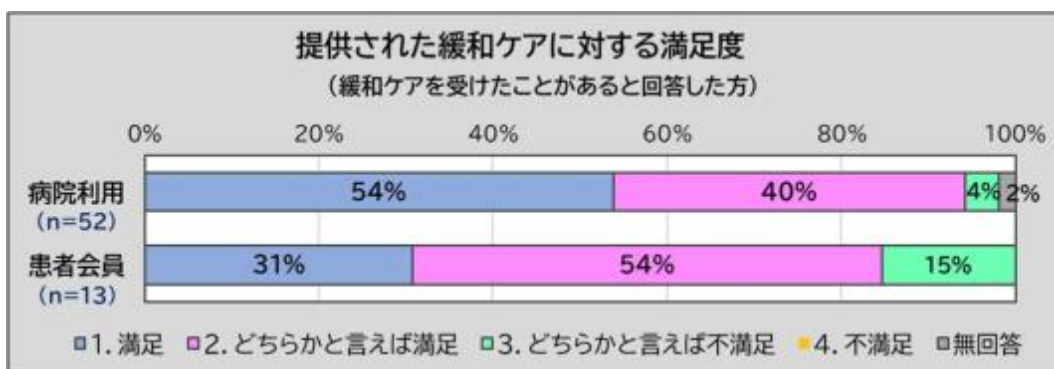
問15-1(患者会員 問19-1)

緩和ケアを受けた経験 (一つ選択)



問15-2(患者会員 問19-2)

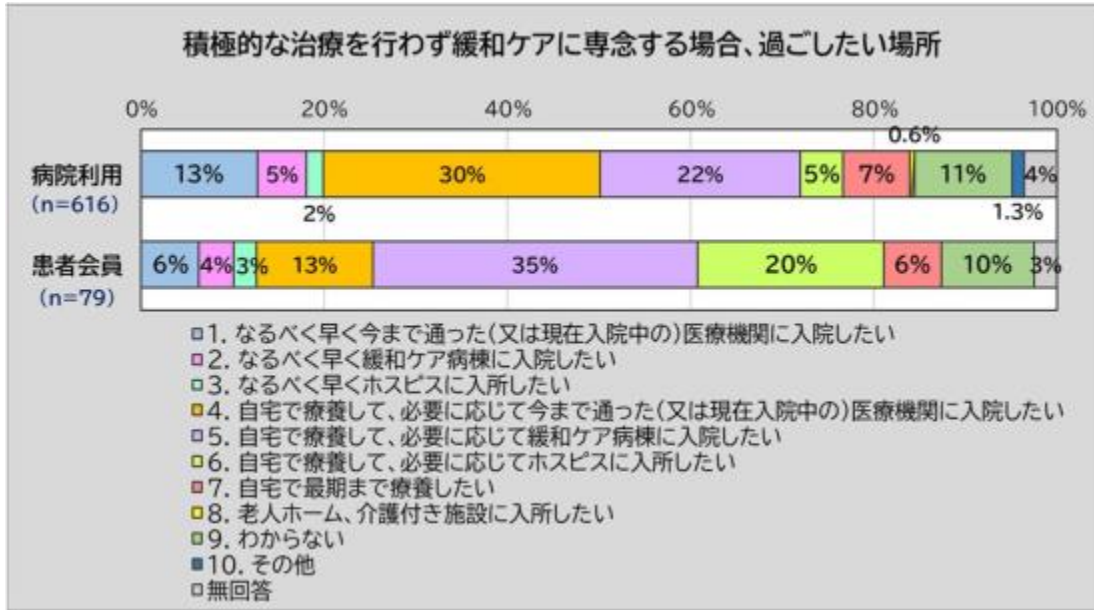
提供された緩和ケアに対する満足度 (一つ選択)



5 在宅医療について

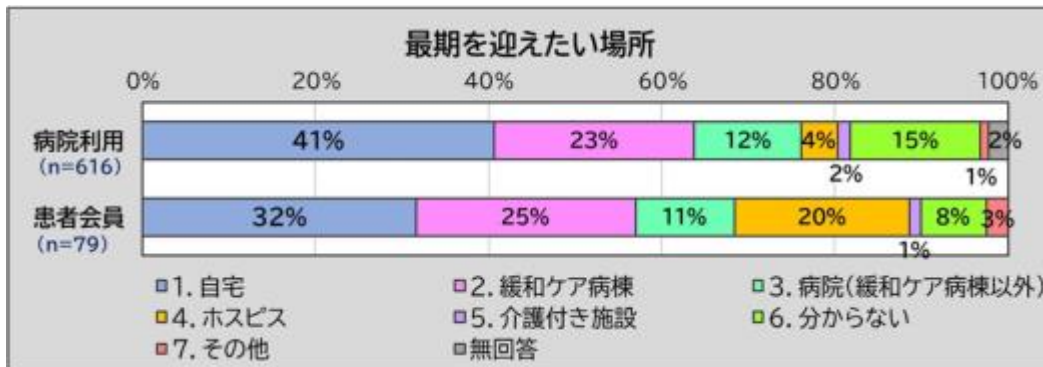
問16(患者会員 問20)

積極的な治療を行わず緩和ケアに専念する場合、過ごしたい場所 (一つ選択)



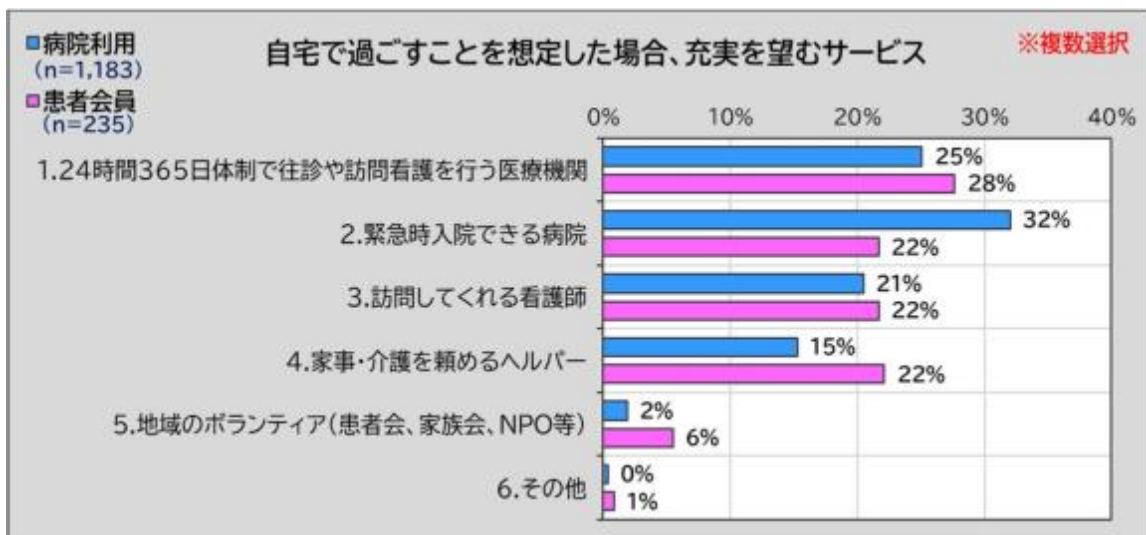
問17(患者会員 問21)

最期を迎えたい場所 (一つ選択)



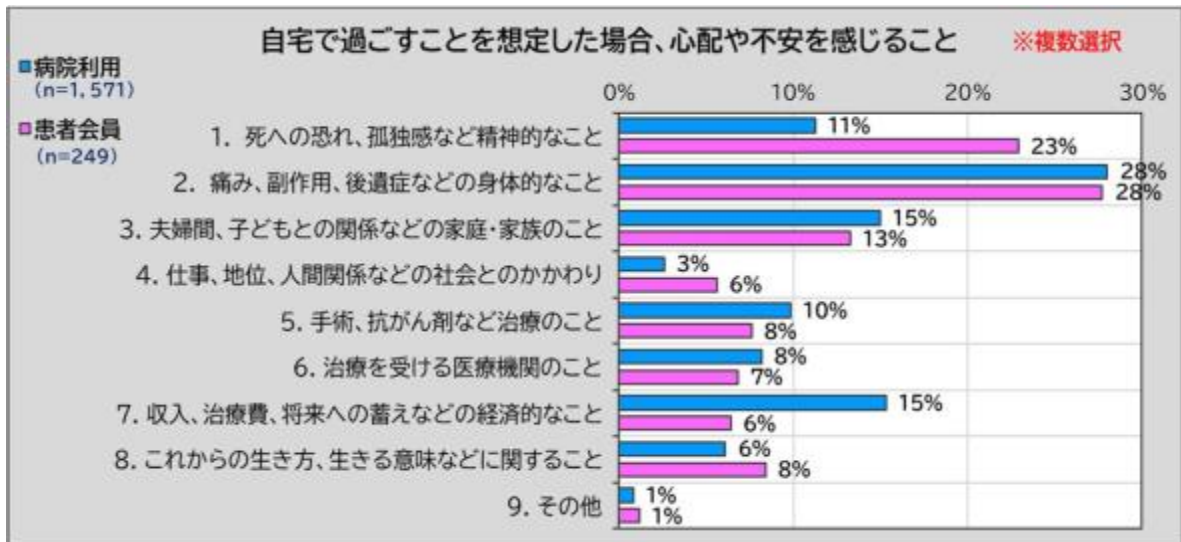
問18-1(患者会員 問22-1)

自宅で過ごすことを想定した場合、充実を望むサービス (複数選択)



問18-2(患者会員 問22-2)

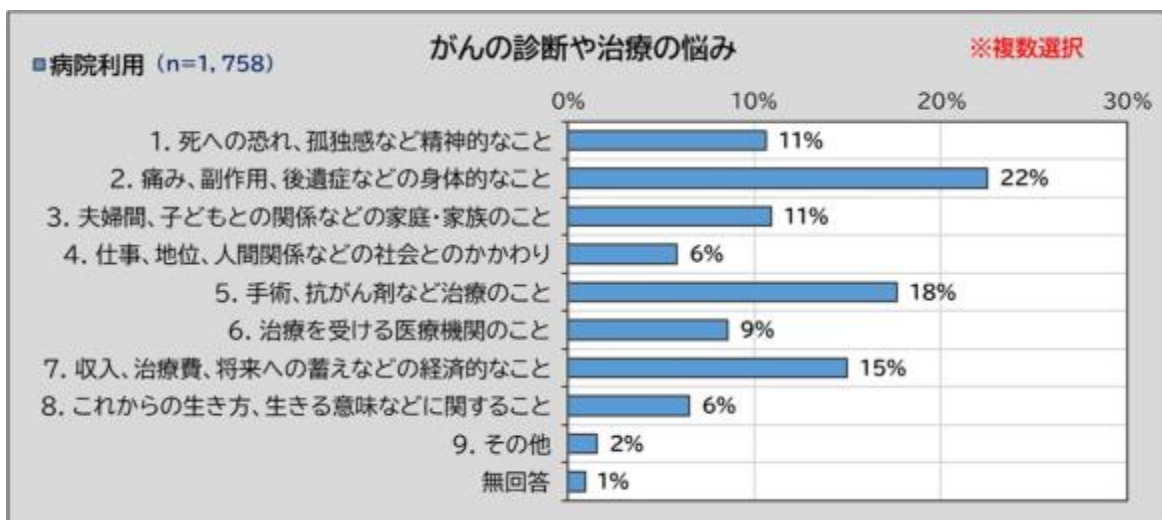
自宅で過ごすことを想定した場合、心配や不安を感じること (複数選択)



6 相談支援・情報提供について

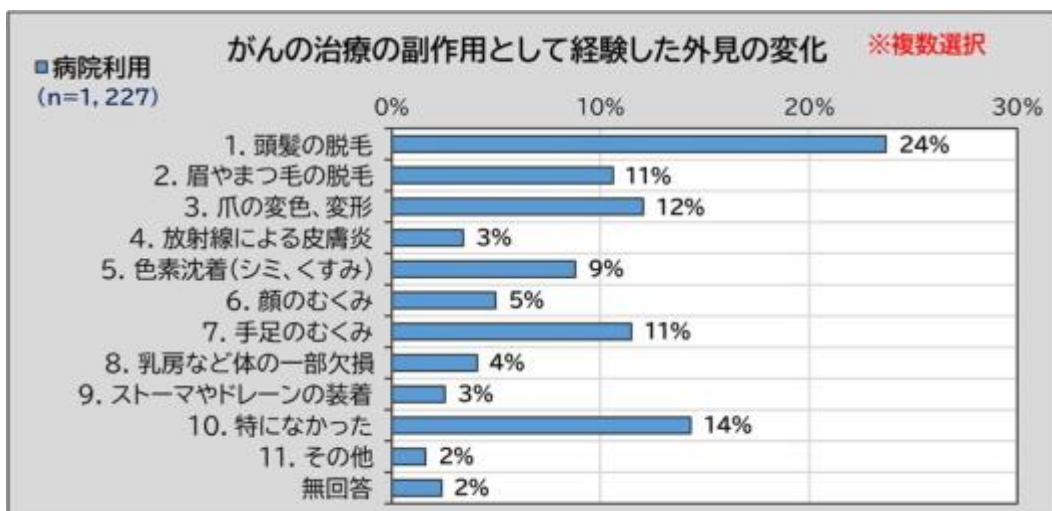
問19(病院利用のみ)

がんの診断や治療の悩み (複数選択)



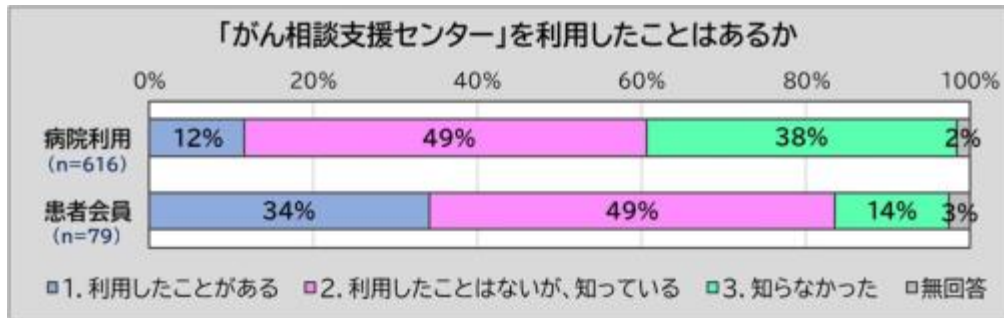
問20(病院利用のみ)

がんの治療の副作用として経験した外見の変化 (複数選択)



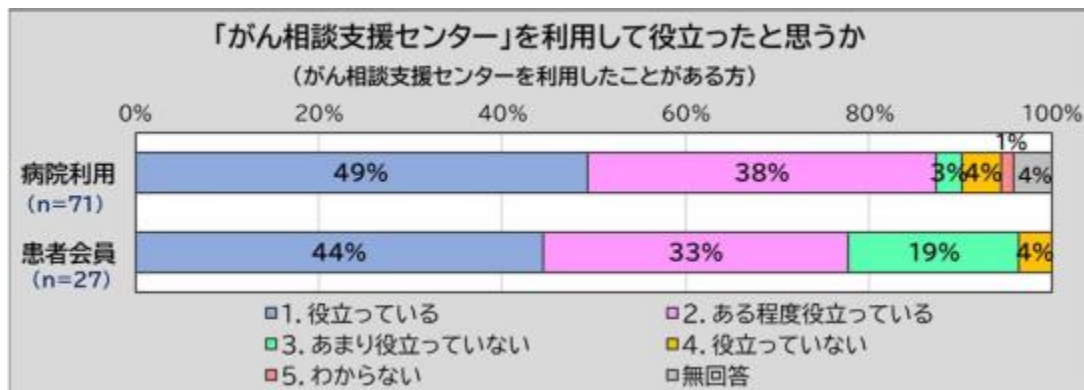
問21-1(患者会員 問24-1)

がん相談支援センターを利用したことはあるか (一つ選択)



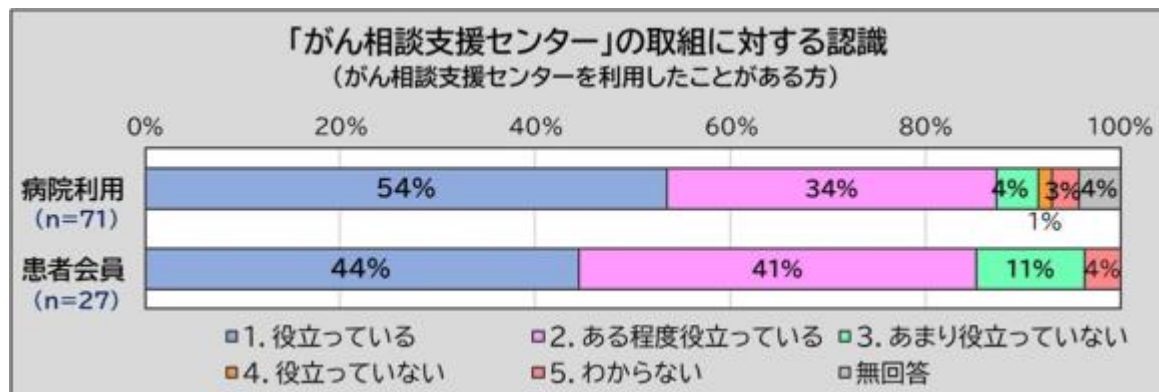
問21-2(患者会員 問24-2)

「がん相談支援センター」を利用して役立ったと思うか (一つ選択)



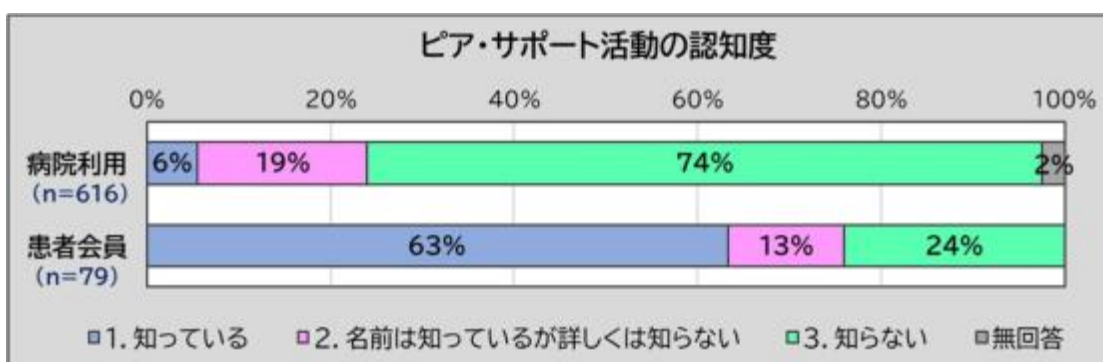
問21-3(患者会員 問24-3)

「がん相談支援センター」の取組に対する認識 (一つ選択)



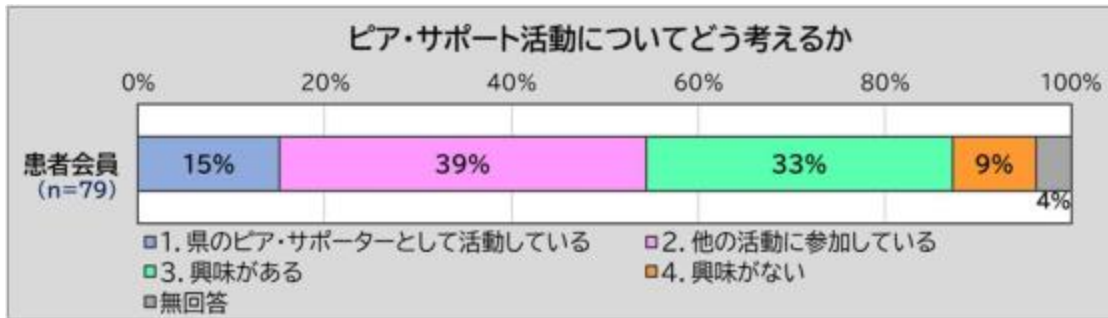
問21-4(患者会員 問25-1)

ピア・サポート活動の認知度 (一つ選択)



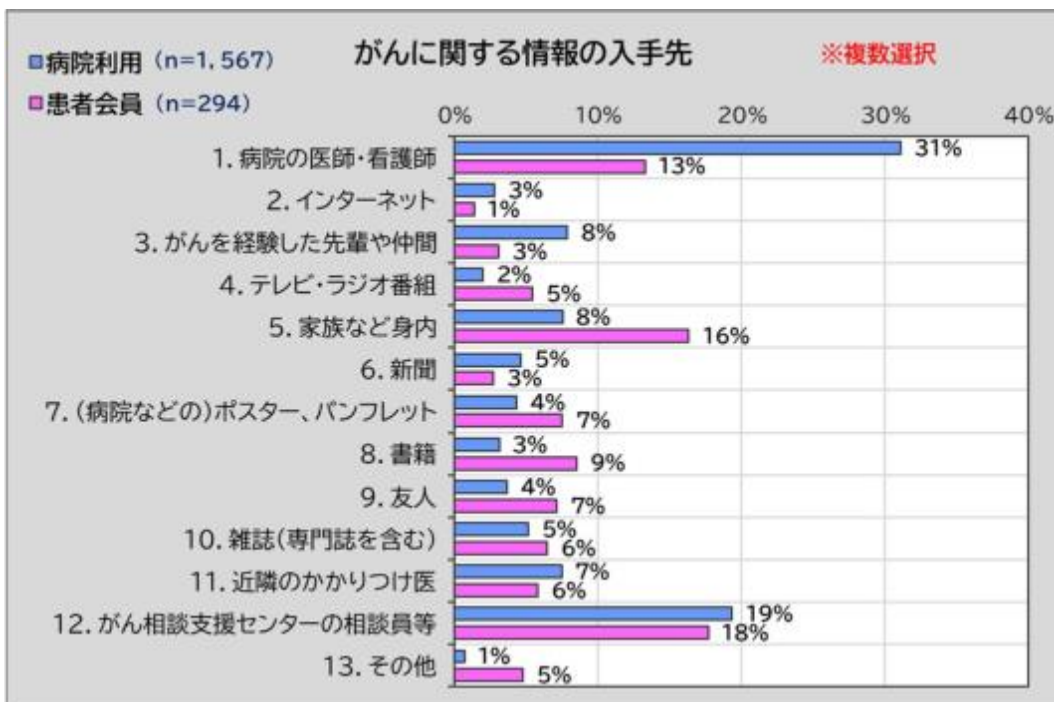
問25-2(患者会員のみ)

ピア・サポート活動についてどう考えるか (一つ選択)



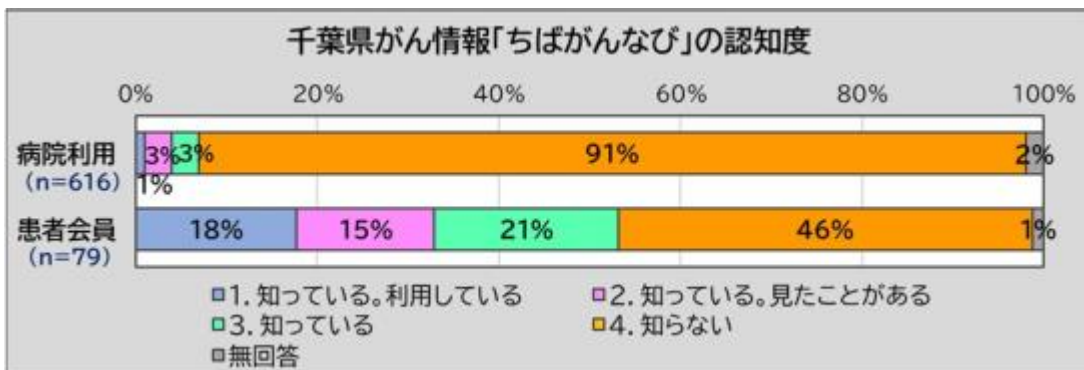
問22(患者会員 問26)

がんに関する情報の入手先 (複数選択)



問23(患者会員 問27)

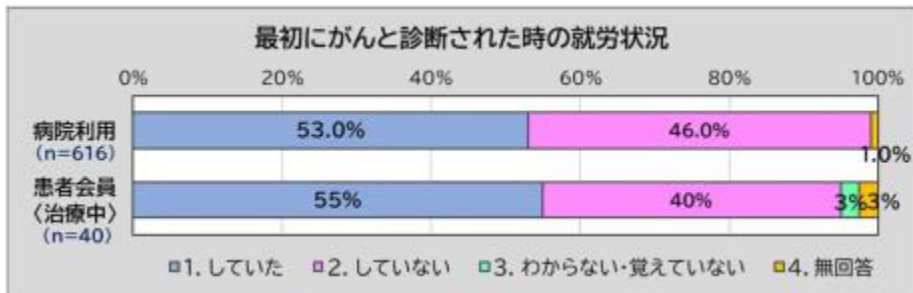
千葉県がん情報「ちばがんナビ」の認知度 (一つ選択)



7 就労について

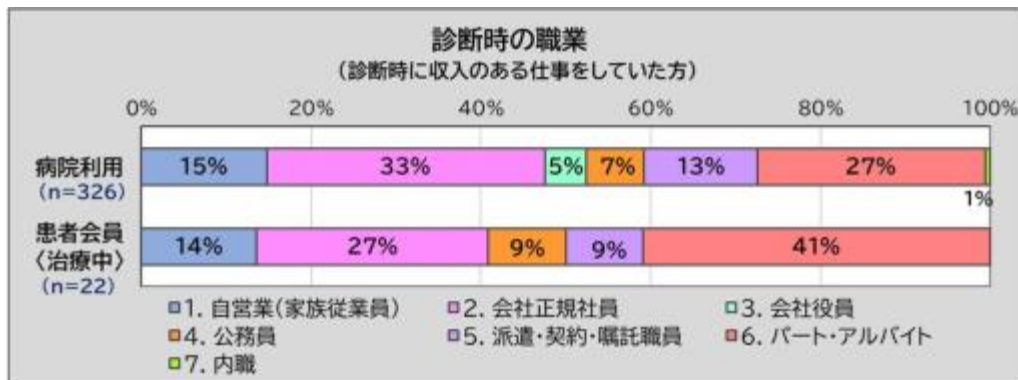
問24(患者会員 問12)

最初にがんと診断された時の就労状況（一つ選択）



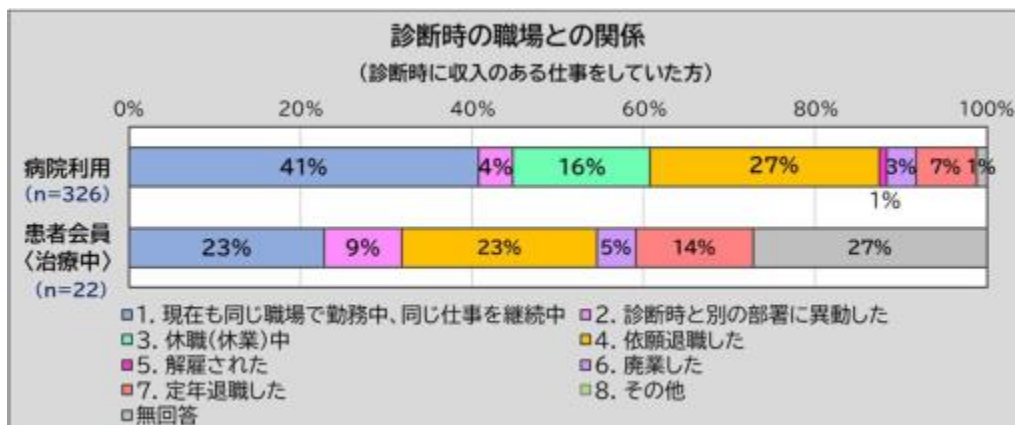
問25(患者会員 問13)

診断時の職業（一つ選択）



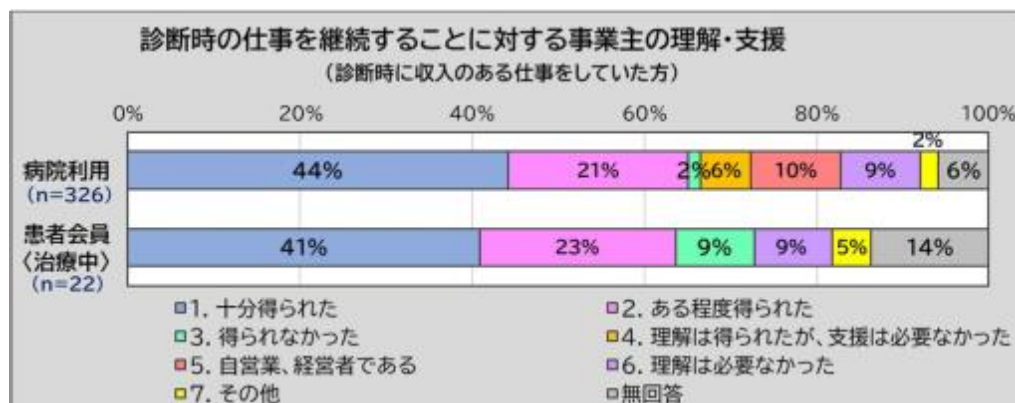
問26(患者会員 問14)

診断時の職場との関係（一つ選択）



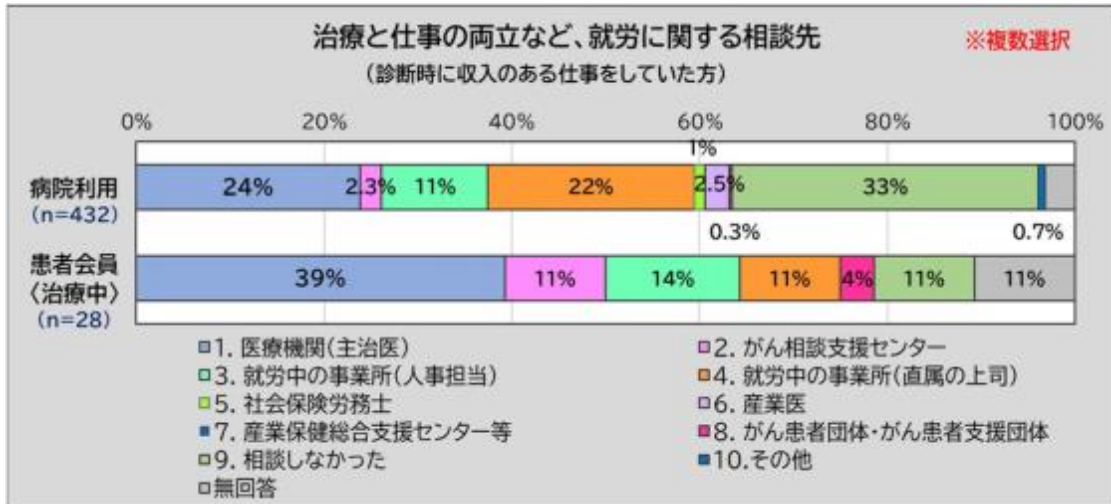
問27(患者会員 問15)

診断時の仕事を継続することに対する事業主の理解・支援（一つ選択）



問28(患者会員 問16)

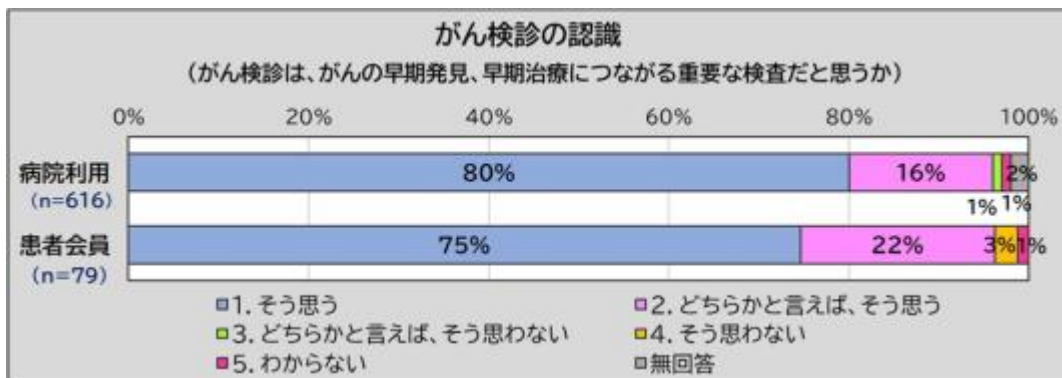
治療と仕事の両立など、就労に関する相談先 (複数選択)



8 がん検診について

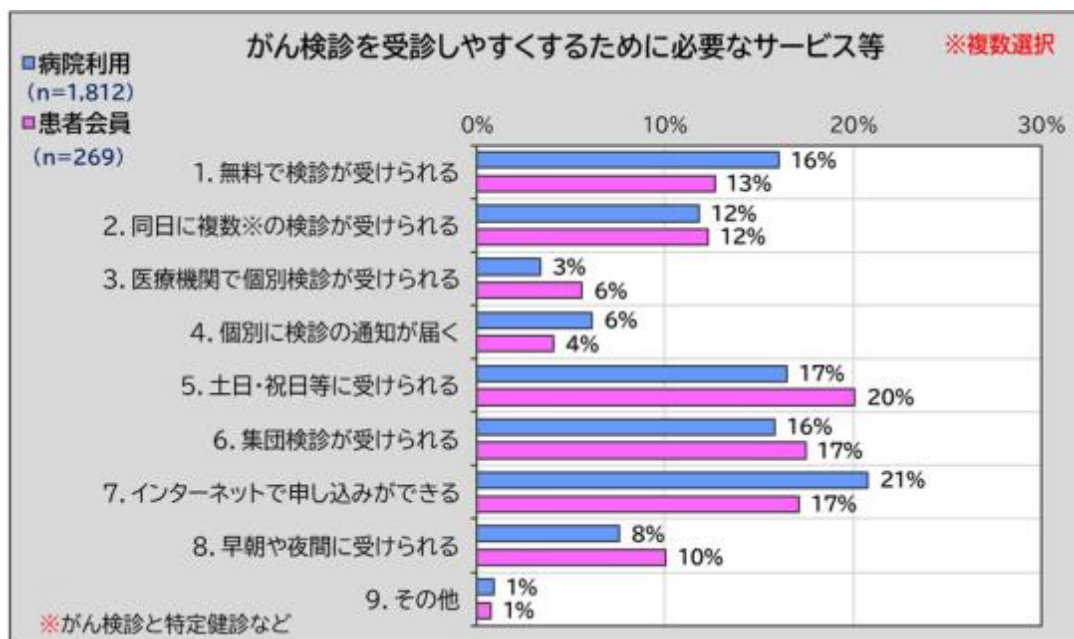
問29(患者会員 問28)

がん検診の認識(がんの早期発見、早期治療につながる重要な検査だと思うか) (一つ選択)



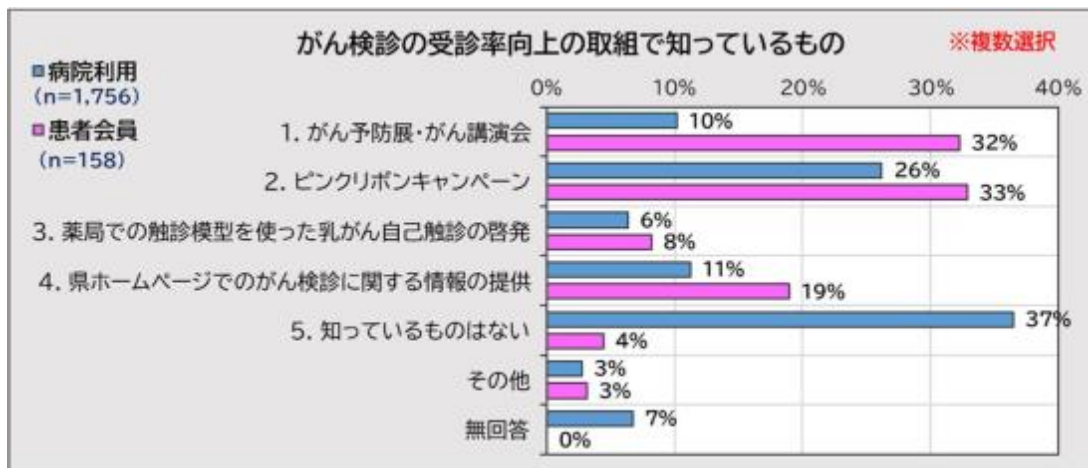
問30(患者会員 問29)

がん検診を受診しやすくするために必要なサービス等 (複数選択)



問31(患者会員 問30)

がん検診の受診率向上の取組で知っているもの(複数選択)



9 がん教育について

問31(患者会員のみのみ)

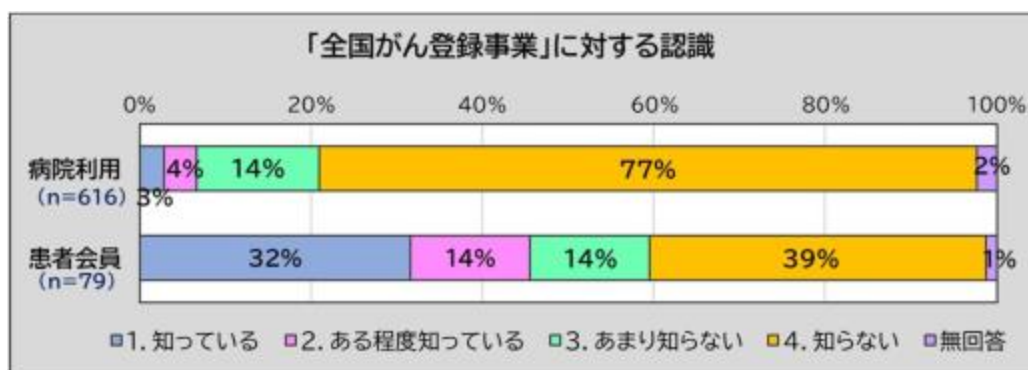
「がん教育」で子どもたちに伝えたいこと(複数選択)



10 がん登録について

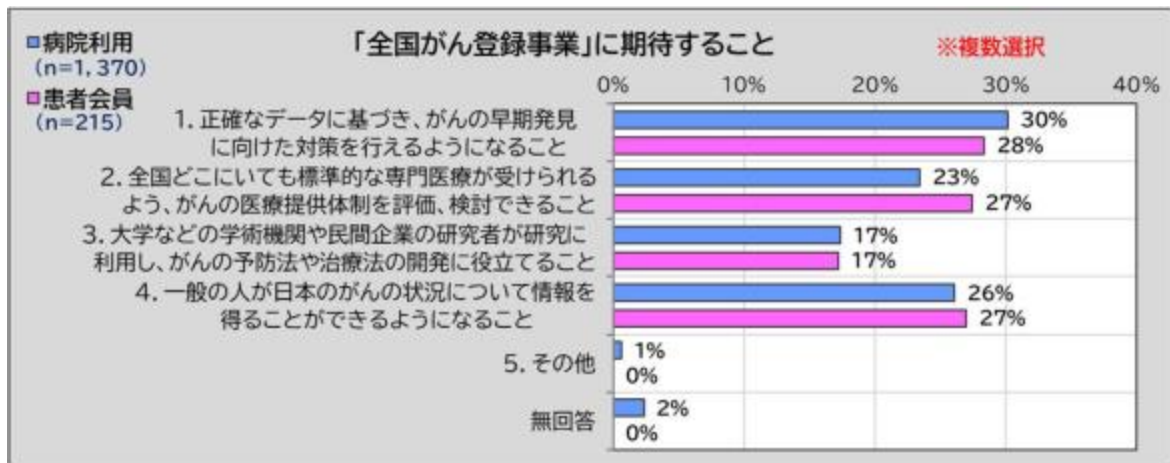
問32(患者会員 問32-1)

「全国がん登録事業」に対する認識(一つ選択)



問33(患者会員 問32-2)

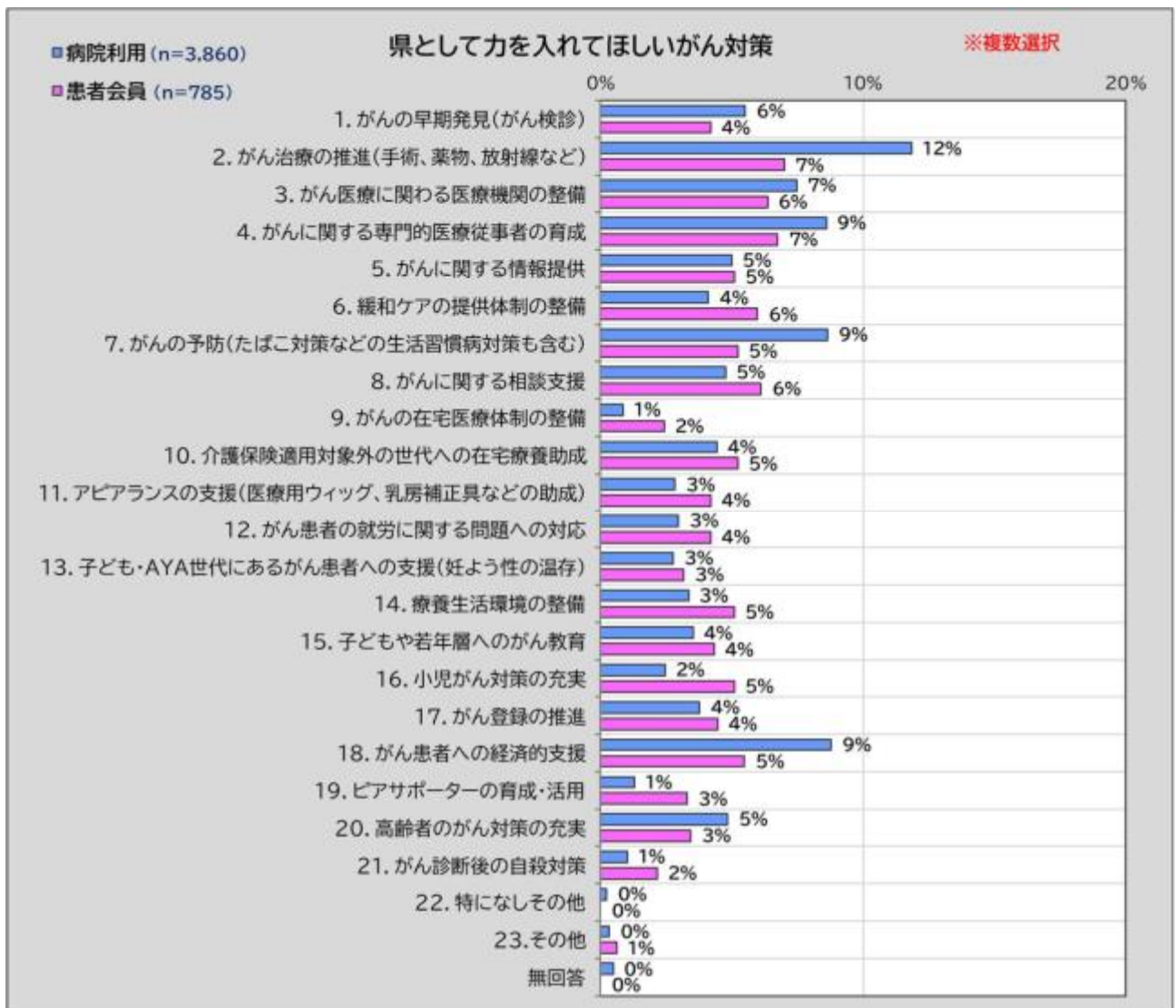
「全国がん登録事業」に期待すること (複数選択)



11 がん対策に関する県への要望について

問34(患者会員 問33)

県として力を入れてほしいがん対策 (複数選択)



問35(患者会員 問34)

その他、県のがん対策についての意見 (自由意見)

自由記載あり 病院利用 108人(回答者の18%)、患者会員 19人(回答者の24%)

資料10

医療に関する県民意識調査報告書（令和5年8月 がん関連部分抜粋）

9. がんの予防等に関する状況や考え

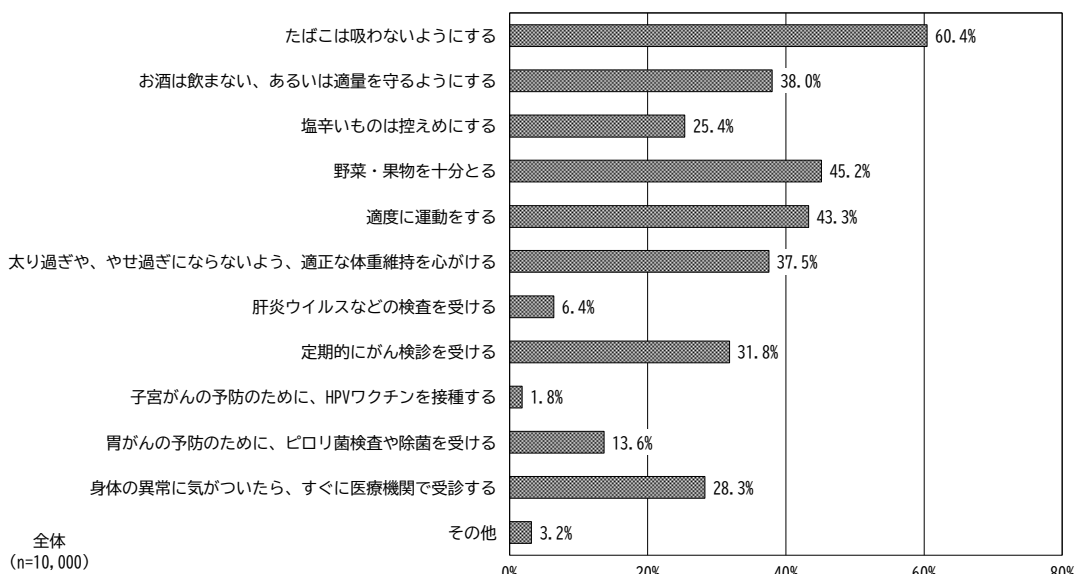
(1) がんの予防のために実践していること

あなたは、がんを予防するために、どんなことを実践していますか。当てはまるものすべてをお選びください。【問25（複数回答）】

○本設問の回答は、「たばこは吸わないようにする」（60.4%）、「野菜・果物を十分とる」（45.2%）、「適度に運動をする」（43.3%）の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「たばこは吸わないようにする」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は5～6割台、女性は5～7割台であった。

図表1 がんの予防のために実践していること



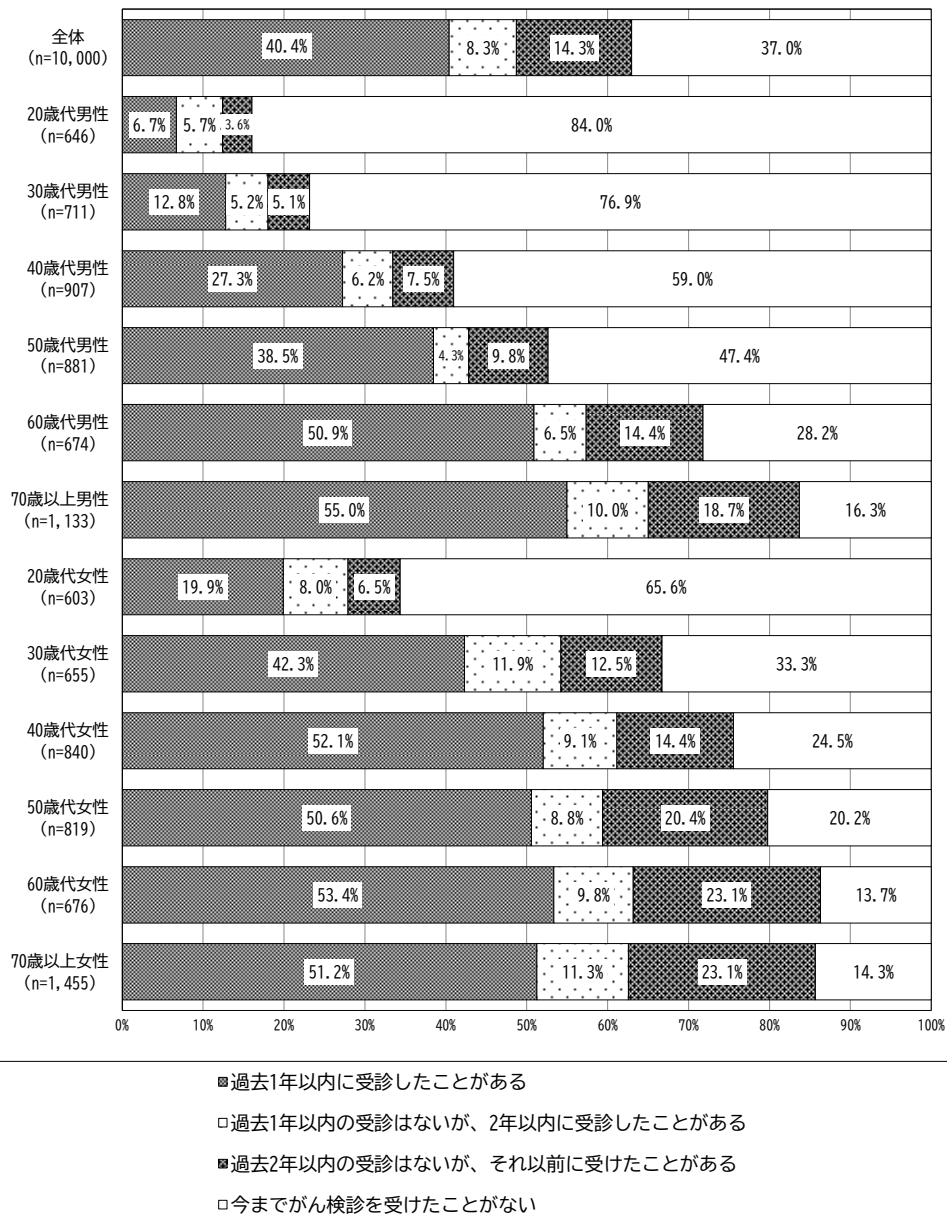
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
たばこは吸わないようにする	60.4%	63.9%	59.6%	53.7%	50.5%	55.5%	67.4%	71.6%	65.3%	62.0%	54.7%	57.5%	63.2%
お酒は飲まない、あるいは適量を守るようにする	38.0%	35.6%	36.2%	31.2%	26.6%	29.0%	36.6%	45.6%	46.0%	40.0%	38.1%	41.1%	47.1%
塩辛いものは控えるにする	25.4%	11.7%	13.7%	13.4%	13.5%	23.2%	32.3%	14.9%	19.0%	22.7%	28.9%	37.2%	48.6%
野菜・果物を十分とる	45.2%	27.5%	32.9%	30.6%	35.2%	47.8%	61.0%	31.5%	36.5%	40.3%	45.0%	56.0%	68.1%
適度に運動をする	43.3%	37.6%	39.3%	39.4%	39.8%	46.6%	61.2%	27.3%	30.4%	30.4%	36.0%	45.2%	60.1%
太り過ぎや、やせ過ぎにならないよう、適正な体重維持を心がける	37.5%	29.7%	31.1%	30.9%	32.8%	40.5%	47.4%	30.3%	32.3%	33.9%	35.4%	45.8%	46.9%
肝炎ウイルスなどの検査を受ける	6.4%	3.1%	2.7%	3.7%	4.3%	7.0%	9.5%	2.3%	3.3%	5.3%	4.9%	10.3%	12.6%
定期的にかん検診を受ける	31.8%	4.3%	7.9%	15.2%	23.9%	34.7%	48.0%	18.7%	33.1%	40.4%	37.3%	45.0%	47.8%
子宮がんの予防のために、HPVワクチンを接種する	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.2%	3.9%	2.2%	1.6%	0.9%	2.0%
胃がんの予防のために、ピロリ菌検査や除菌を受ける	13.6%	3.8%	5.4%	8.2%	12.4%	18.1%	23.5%	3.2%	5.8%	9.8%	12.3%	20.4%	24.1%
身体の異常に気がいたら、すぐに医療機関で受診する	28.3%	12.9%	15.3%	17.3%	21.1%	25.2%	36.7%	21.9%	26.2%	27.4%	27.6%	36.0%	48.4%
その他	3.2%	2.9%	3.3%	4.5%	4.2%	4.2%	2.3%	2.3%	3.1%	2.7%	4.7%	3.0%	1.8%

(2) がん検診の受診状況

📌 症状が出る前のがんを発見し、早期の治療に結び付けるために、胸や胃のレントゲン撮影やマンモグラフィ検査などによる「がん検診」が行われています。あなたは、このような「がん検診」を受けたことがありますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 26 (単数回答)】

○本設問で「過去1年以内に受診したことがある」と回答した方の割合は、40.4%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて、男性は増加傾向（1割未満から5割超え）、女性は20~40歳代は増加傾向（1割から5割超え）・40歳以上は5割台で横ばいであった。

図表 2 がん検診の受診状況



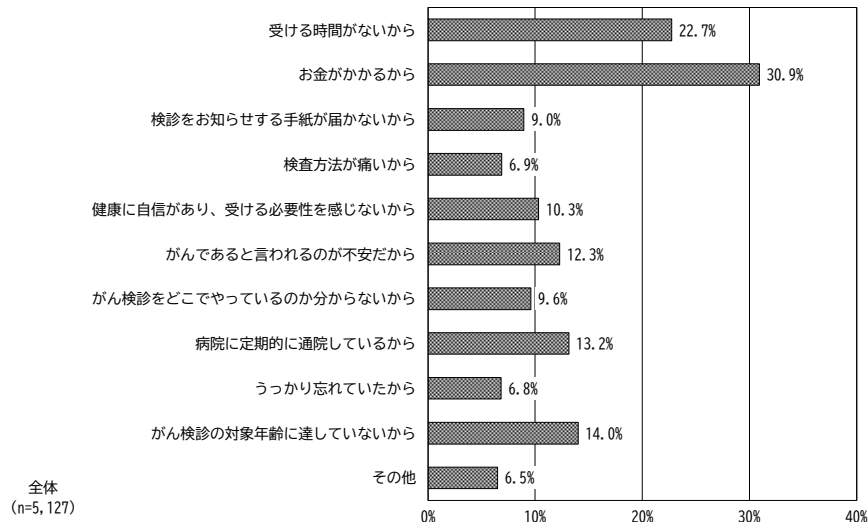
(3) がん検診を受診しなかった理由

《「2年以上前にかん検診を受診したことがある」または「今までがんと検診を受診したことがない」と回答した方と回答した方》

📌 あなたがこれまで、あるいは最近、がん検診を受けない理由は何ですか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 27 (複数回答)】

- 本設問の回答は、「お金がかかるから」(30.9%)、「受ける時間がないから」(22.7%)の順で多かった。
- 最も回答割合の高かった「お金がかかるから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は1～4割台、女性は1～3割台であった。
- 年齢層で違いが見られた理由として、「病院に定期的に通院しているから」(60歳未満：1割以下／60歳以上：2割～4割台)、「がん検診の対象年齢に達していないから」(40歳未満：2～4割台／40歳以上：1割未満)がみられた。

図表 3 がん検診を受診しなかった理由



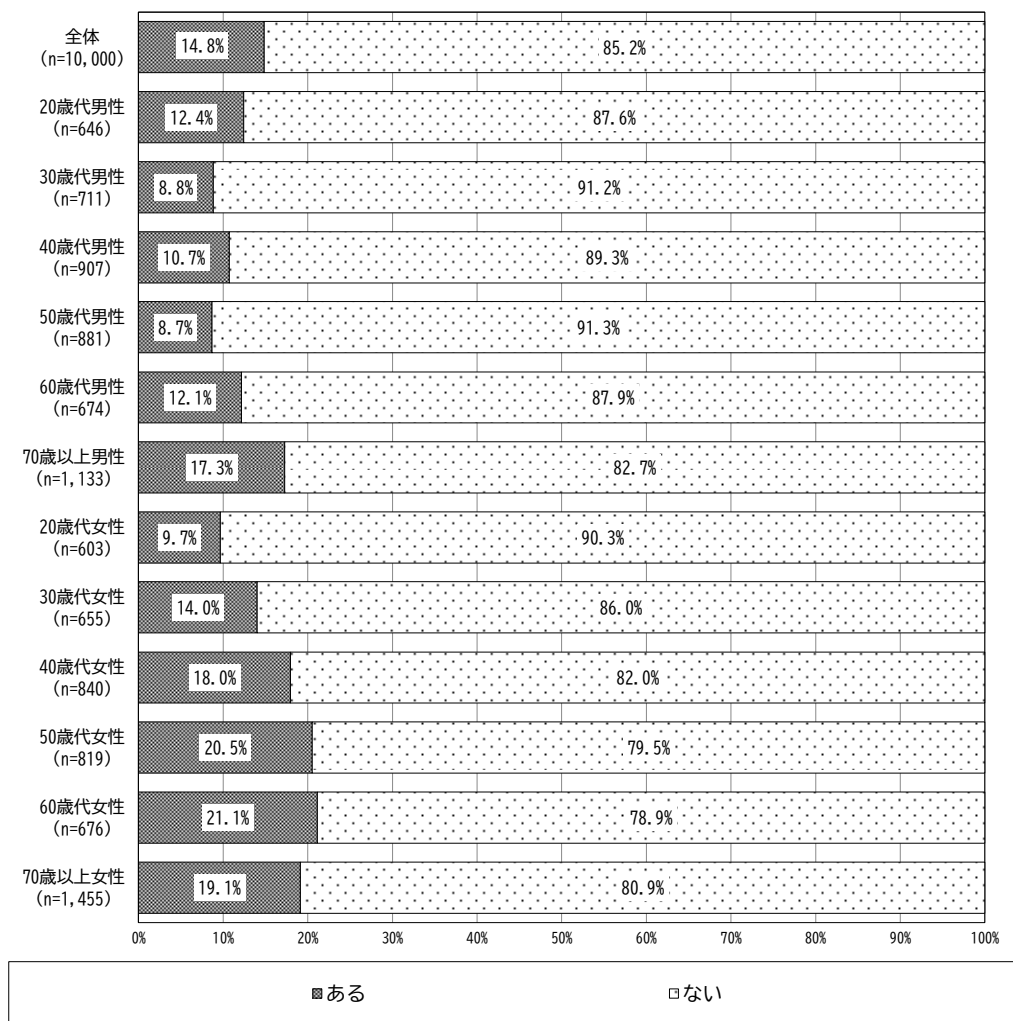
	全体 (n=5,127)	20歳代男性 (n=565)	30歳代男性 (n=583)	40歳代男性 (n=604)	50歳代男性 (n=504)	60歳代男性 (n=288)	70歳以上男性 (n=396)	20歳代女性 (n=435)	30歳代女性 (n=300)	40歳代女性 (n=326)	50歳代女性 (n=333)	60歳代女性 (n=249)	70歳以上女性 (n=545)
受ける時間がないから	22.7%	23.5%	24.2%	34.2%	33.0%	17.7%	5.0%	23.2%	33.3%	26.5%	22.7%	15.7%	8.4%
お金がかかるから	30.9%	28.4%	40.7%	41.3%	41.0%	30.1%	17.4%	28.9%	33.0%	34.5%	29.8%	24.5%	14.7%
検診をお知らせする手紙が届かないから	9.0%	13.7%	10.6%	8.9%	6.3%	6.0%	8.0%	14.0%	12.7%	5.3%	5.2%	6.2%	6.7%
検査方法が痛いから	6.9%	2.5%	3.4%	3.5%	4.0%	4.7%	2.5%	7.3%	10.3%	15.3%	15.0%	12.4%	11.1%
健康に自信があり、受ける必要性を感じないから	10.3%	13.4%	10.1%	6.6%	8.5%	10.1%	16.5%	5.9%	3.6%	8.9%	10.9%	12.4%	15.6%
がんであると言われるのが不安だから	12.3%	4.9%	8.0%	11.9%	14.4%	14.6%	13.3%	5.9%	10.6%	20.6%	18.0%	16.8%	16.4%
がん検診をどこでやっているのか分からないから	9.6%	11.2%	13.9%	13.6%	12.5%	7.6%	5.5%	14.0%	10.3%	7.8%	4.6%	5.1%	2.7%
病院に定期的に通院しているから	13.2%	3.8%	3.1%	7.4%	11.4%	24.4%	46.1%	1.7%	4.2%	5.6%	9.6%	20.1%	29.3%
うっかり忘れていたから	6.8%	2.5%	3.9%	7.5%	4.3%	3.8%	1.1%	9.4%	14.2%	13.1%	12.3%	7.7%	8.0%
がん検診の対象年齢に達していないから	14.0%	43.2%	31.0%	6.6%	2.3%	1.3%	0.7%	35.6%	20.0%	3.1%	0.5%	0.7%	1.3%
その他	6.5%	2.5%	2.3%	4.1%	5.4%	14.6%	10.8%	1.9%	4.8%	7.8%	12.6%	10.9%	9.3%

(4) 新型コロナウイルス感染症の流行期間中におけるがん検診の受診控えの有無

新型コロナウイルス感染症が流行した期間、感染を危惧してがん検診を受診しなかったことはありますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 28 (単数回答)】

○本設問で「ある」と回答した方の割合は、14.8%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、50歳以上女性の割合が2割前後で他の区分よりも高かった。

図表 4 新型コロナウイルス感染症の流行期間中におけるがん検診の受診控えの有無



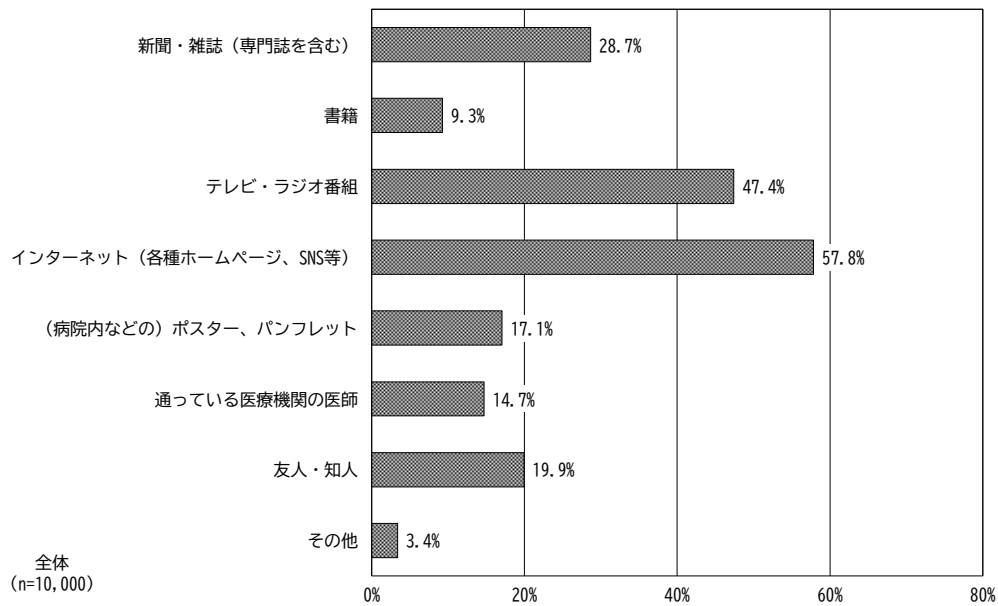
(5) がんに関する情報を得るために活用している情報源

あなたは、どのようなところから、がんに関する情報を得ていますか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 29 (複数回答)】

○本設問の回答は、「インターネット (各種ホームページ、SNS 等)」(57.8%)、「テレビ・ラジオ番組」(47.4%)の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「インターネット (各種ホームページ、SNS 等)」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は5～6割台、女性は4～6割台であった。

図表 5 がんに関する情報を得るために活用している情報源



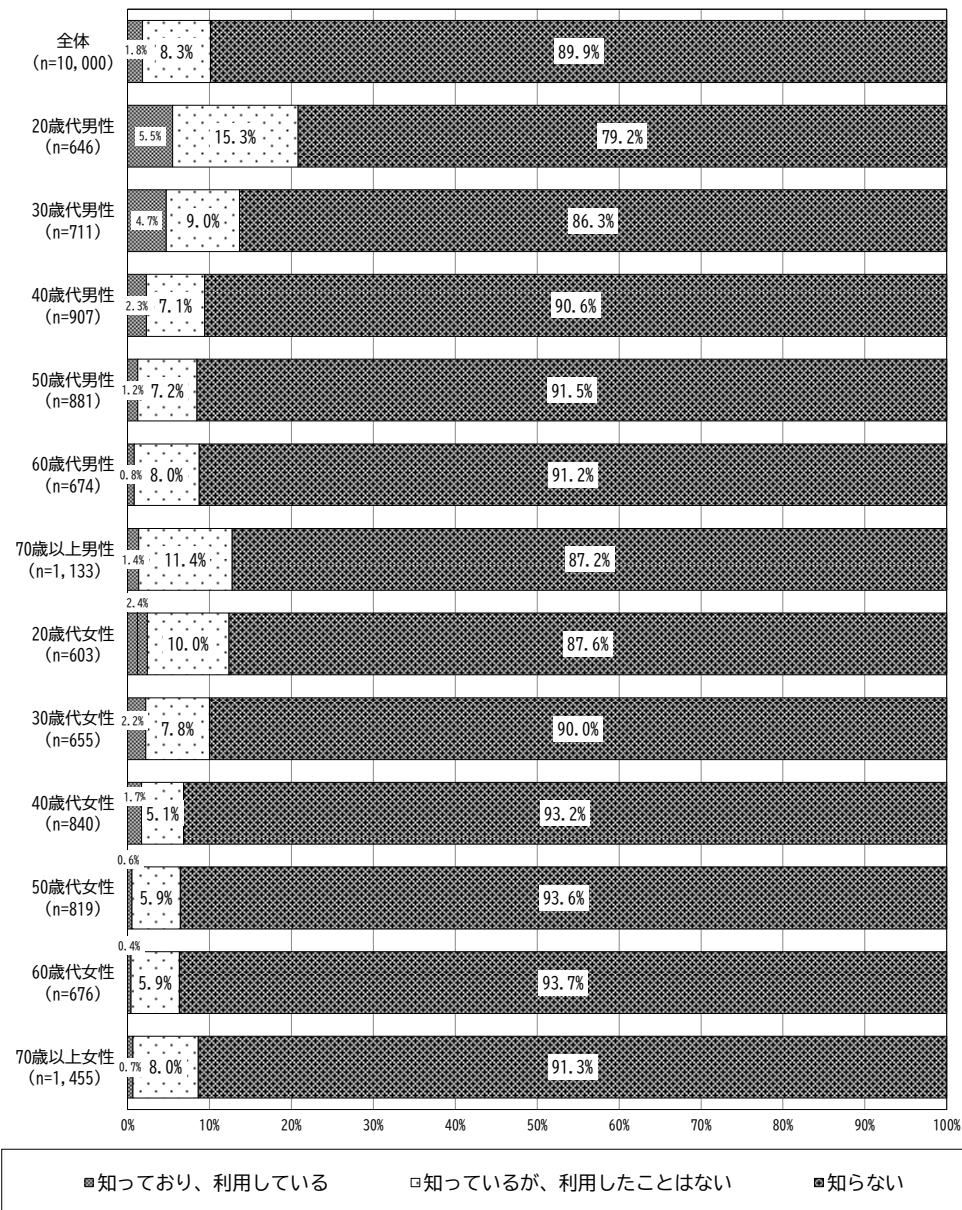
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
新聞・雑誌 (専門誌を含む)	28.7%	13.9%	16.5%	19.8%	25.0%	36.0%	54.1%	11.0%	14.3%	14.0%	21.4%	33.3%	49.9%
書籍	9.3%	12.4%	9.0%	6.9%	6.6%	9.9%	11.8%	6.5%	5.4%	6.2%	7.9%	10.5%	13.6%
テレビ・ラジオ番組	47.4%	37.1%	38.7%	37.9%	38.3%	47.4%	56.4%	36.3%	37.3%	44.0%	46.6%	59.3%	66.7%
インターネット (各種ホームページ、SNS等)	57.8%	50.5%	59.5%	60.6%	65.7%	63.8%	57.5%	54.9%	63.8%	64.2%	63.2%	58.3%	42.9%
(病院内などの) ポスター、パンフレット	17.1%	8.9%	11.5%	11.2%	11.5%	18.1%	20.3%	18.7%	17.8%	17.4%	16.5%	22.6%	24.1%
通っている医療機関の医師	14.7%	8.1%	6.4%	7.1%	10.5%	18.8%	31.5%	7.8%	8.7%	10.3%	14.3%	16.8%	21.5%
友人・知人	19.9%	18.9%	17.4%	15.9%	9.3%	13.2%	14.3%	19.8%	22.6%	22.6%	23.4%	28.1%	29.6%
その他	3.4%	4.1%	4.0%	4.6%	4.3%	2.3%	1.4%	5.3%	4.2%	3.8%	3.7%	3.0%	2.3%

(6)「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知状況

📌 がん専用サイト「千葉県がん情報 ちばがんナビ」では、がんに関する知識や、県内の医療機関、不安や悩みを相談できる身近な窓口、各種の支援制度などを紹介しています。あなたは、「千葉県がん情報 ちばがんナビ」を知っていますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 30 (単数回答)】

- 本設問の回答は、「知らない」(89.9%)、「知っているが、利用したことはない」(8.3%)、「知っており、利用している」(1.8%)の順で多かった。
- 最も回答割合の高かった「知らない」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：7～9割台、女性：8～9割台)がみられた。

図表 6 「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の認知状況

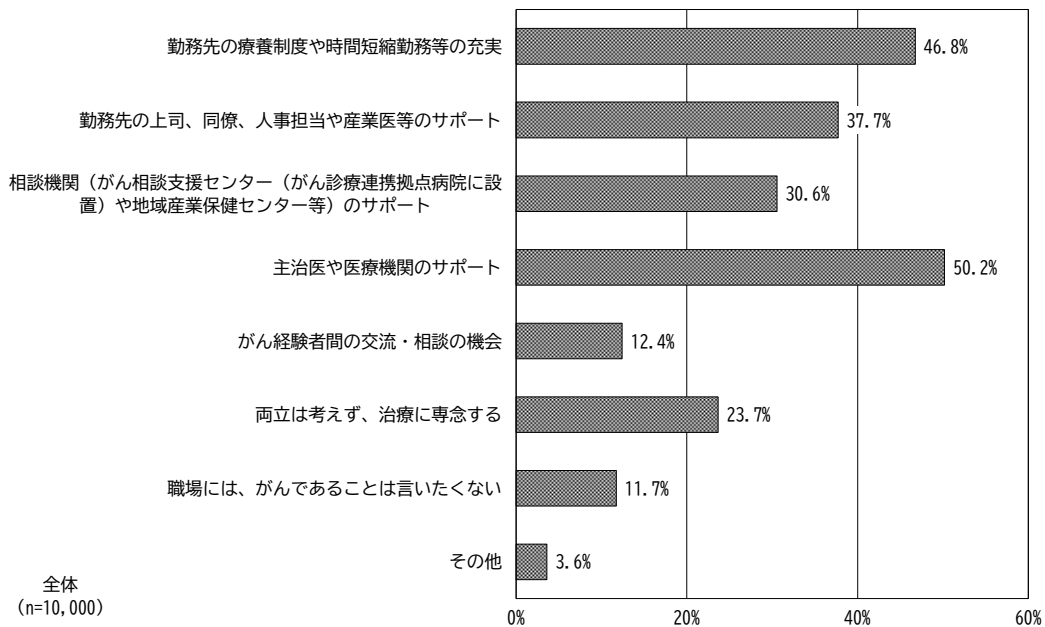


(7) がんの治療と仕事の両立のために必要な支援・取組

🚩 早期発見と治療方法の進歩により、多くのがんの生存率は向上しており、がんと診断された方で、働いている方の約7割は、治療と仕事を両立しながら同じ職場に復帰していると言われています。あなたが、がんと診断されたとしたら、治療と現在の仕事を両立してゆくにあって、どのような支援や取組が必要と思いますか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 31 (複数回答)】

- 本設問の回答は、「主治医や医療機関のサポート」(50.2%)、「勤務先の療養制度や時間短縮勤務等の充実」(46.8%)の順で多かった。
- 最も回答割合の高かった「主治医や医療機関のサポート」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：3～6割台、女性：4～6割台)がみられた。

図表 7 がんの治療と仕事の両立のために必要な支援・取組



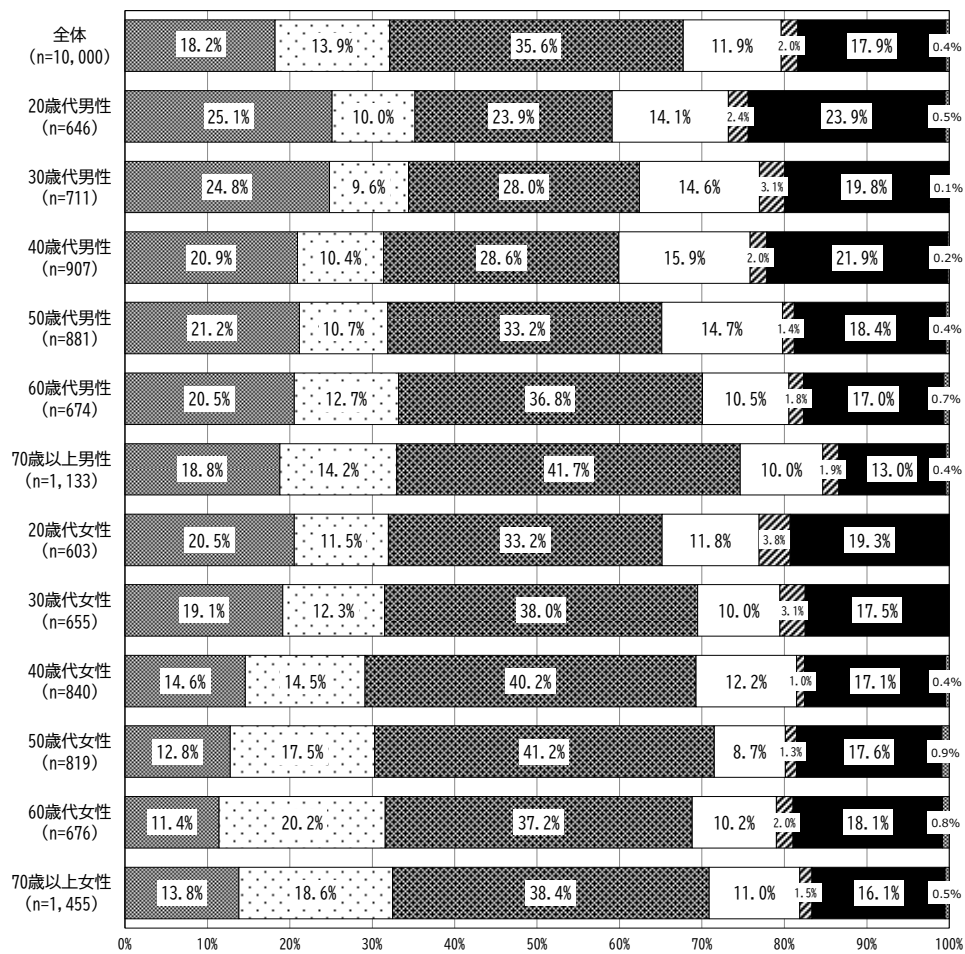
	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
勤務先の療養制度や時間短縮勤務等の充実	46.8%	54.1%	55.2%	56.2%	51.5%	41.4%	26.0%	57.5%	61.4%	56.9%	52.5%	39.7%	32.4%
勤務先の上司、同僚、人事担当や産業医等のサポート	37.7%	42.1%	45.3%	42.8%	41.5%	32.5%	22.4%	44.5%	50.2%	45.7%	45.0%	33.2%	26.0%
相談機関(がん相談支援センター(がん診療連携拠点病院に設置)や地域産業保健センター等)のサポート	30.6%	24.6%	24.2%	24.8%	29.0%	32.7%	30.4%	25.9%	33.3%	32.6%	36.2%	34.1%	34.8%
主治医や医療機関のサポート	50.2%	34.9%	36.3%	36.4%	45.4%	53.0%	64.0%	43.7%	50.9%	47.2%	52.7%	55.5%	63.4%
がん経験者間の交流・相談の機会	12.4%	13.2%	9.5%	9.1%	7.5%	9.2%	8.9%	12.2%	16.1%	16.1%	16.2%	16.9%	14.8%
両立は考えず、治療に専念する	23.7%	18.4%	21.4%	21.1%	21.6%	24.7%	32.2%	23.2%	20.1%	19.8%	19.4%	26.9%	27.8%
職場には、がんであることは言いたくない	11.7%	16.0%	15.0%	14.8%	11.1%	7.4%	3.4%	16.3%	18.0%	18.7%	13.9%	10.5%	5.8%
その他	3.6%	1.7%	1.4%	1.7%	3.5%	5.4%	7.1%	0.8%	0.3%	1.7%	3.0%	4.2%	7.2%

(8) がんに対する症状緩和に専念する場合に過ごしたい場所

📊 がんに対する積極的な治療を行わずに症状緩和に専念する場合、どこで過ごしたいと思いますか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 32 (単数回答)】

- 本設問の回答は、「自宅で療養して、必要に応じて（通院中の）医療機関に入院したい」（35.6%）、「なるべく早く（通院中の）医療機関に入院したい」（18.2%）、「わからない」（17.9%）の順が多かった。
- 最も回答割合の高かった「自宅で療養して、必要に応じて（通院中の）医療機関に入院したい」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：2～4割台、女性（20～50歳代）：3～4割台）がみられた。

図表 8 がんに対する症状緩和に専念する場合に過ごしたい場所



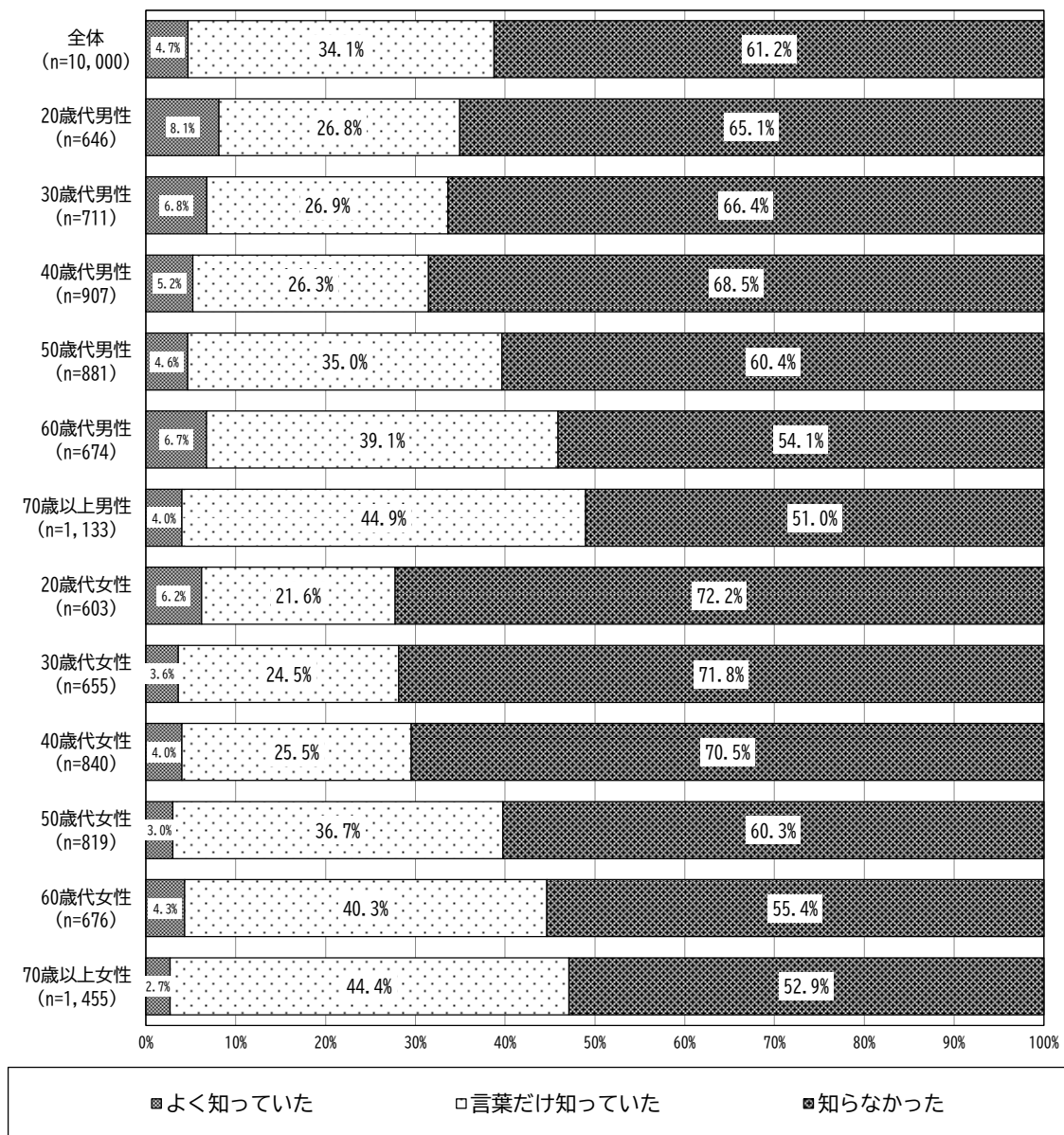
- なるべく早く（通院中の）医療機関に入院したい
- なるべく早く緩和ケア病棟（終末期における体と心の苦痛緩和のための治療とケアを行う病棟）に入院したい
- 自宅で療養して、必要に応じて（通院中の）医療機関に入院したい
- 自宅で最期まで療養したい
- 老人ホーム、介護付き施設に入所したい
- わからない
- その他

(9) がんゲノム治療の認知状況

あなたは、がんゲノム医療について知っていましたか。当てはまるもの1つをお選びください。【問 33 (単数回答)】

○本設問で「何らか知っていた」と回答した方の割合は、38.8%であった。その内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：3～4割台、女性：2～4割台）がみられた。

図表 9 がんゲノム治療の認知状況

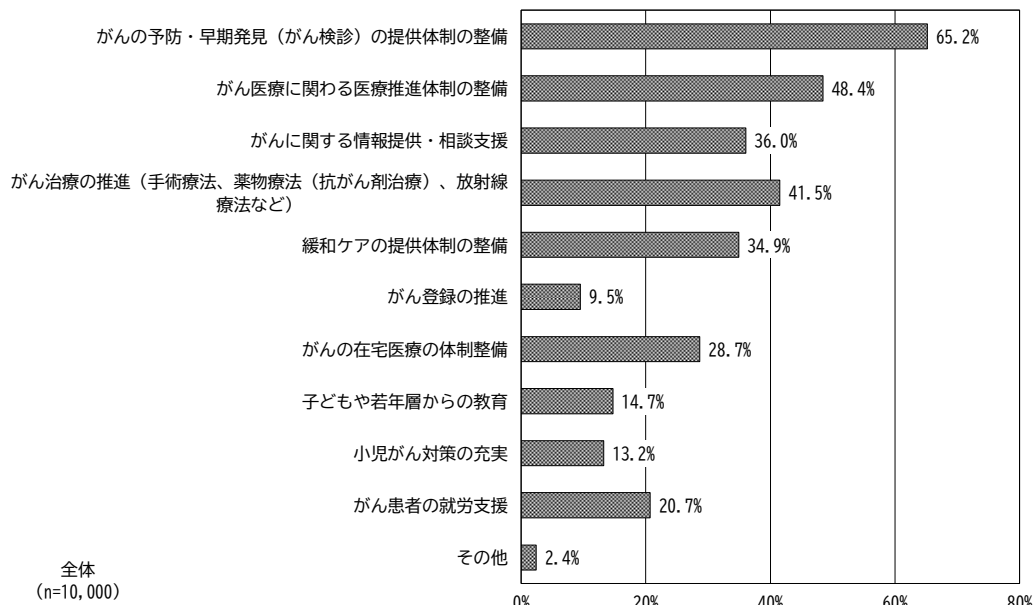


(10) がん対策について県に期待すること

あなたは、がん対策について、県としてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 34（複数回答）】

- 本設問の回答は、「がんの予防・早期発見（がん検診）の提供体制の整備」（65.2%）、「がん医療に関わる医療推進体制の整備」（48.4%）」の順で多かった。
- 最も回答割合の高かった「がんの予防・早期発見（がん検診）の提供体制の整備」の内訳を性別・年齢区分別にみると、年齢区分が上がるにつれて男性は概ね増加傾向（5～7割台）、女性は概ね減少傾向（6～7割台）がみられた。

図表 10 がん対策について県に期待すること



	全体 (n=10,000)	20歳代男性 (n=646)	30歳代男性 (n=711)	40歳代男性 (n=907)	50歳代男性 (n=881)	60歳代男性 (n=674)	70歳以上男性 (n=1,133)	20歳代女性 (n=603)	30歳代女性 (n=655)	40歳代女性 (n=840)	50歳代女性 (n=819)	60歳代女性 (n=676)	70歳以上女性 (n=1,455)
がんの予防・早期発見（がん検診）の提供体制の整備	65.2%	58.6%	61.3%	60.9%	65.1%	68.2%	73.4%	70.7%	70.5%	65.6%	60.2%	63.3%	63.9%
がん医療に関わる医療推進体制の整備	48.4%	38.0%	42.3%	44.5%	48.2%	50.1%	54.1%	40.6%	49.9%	51.2%	53.1%	52.2%	50.2%
がんに関する情報提供・相談支援	36.0%	25.6%	29.8%	30.9%	31.1%	34.7%	40.9%	33.6%	36.6%	36.9%	39.6%	43.5%	41.6%
がん治療の推進（手術療法、薬物療法（抗がん剤治療）、放射線療法など）	41.5%	25.6%	34.0%	32.6%	37.0%	43.3%	52.5%	31.2%	42.2%	43.2%	46.8%	47.3%	48.6%
緩和ケアの提供体制の整備	34.9%	19.4%	23.4%	24.8%	27.1%	29.7%	36.0%	19.9%	35.4%	40.8%	46.8%	46.9%	50.4%
がん登録の推進	9.5%	14.4%	10.6%	10.9%	8.9%	7.3%	7.1%	12.4%	13.3%	10.5%	8.5%	5.1%	8.5%
がんの在宅医療の体制整備	28.7%	16.0%	19.7%	20.7%	23.3%	26.9%	35.0%	19.2%	27.7%	28.9%	33.5%	32.5%	42.4%
子どもや若年層からの教育	14.7%	23.7%	20.6%	14.7%	7.6%	6.9%	8.3%	28.8%	27.3%	18.8%	11.3%	9.5%	11.1%
小児がん対策の充実	13.2%	15.3%	14.7%	11.8%	7.2%	6.6%	7.7%	21.7%	25.7%	17.0%	9.9%	11.4%	14.8%
がん患者の就労支援	20.7%	20.6%	19.7%	20.1%	17.0%	12.8%	9.8%	24.3%	34.5%	33.0%	29.7%	20.3%	16.3%
その他	2.4%	3.1%	2.2%	2.9%	3.5%	3.5%	1.1%	1.8%	1.8%	2.2%	3.8%	2.4%	1.7%

16. 最期を迎える場所の希望や理由について

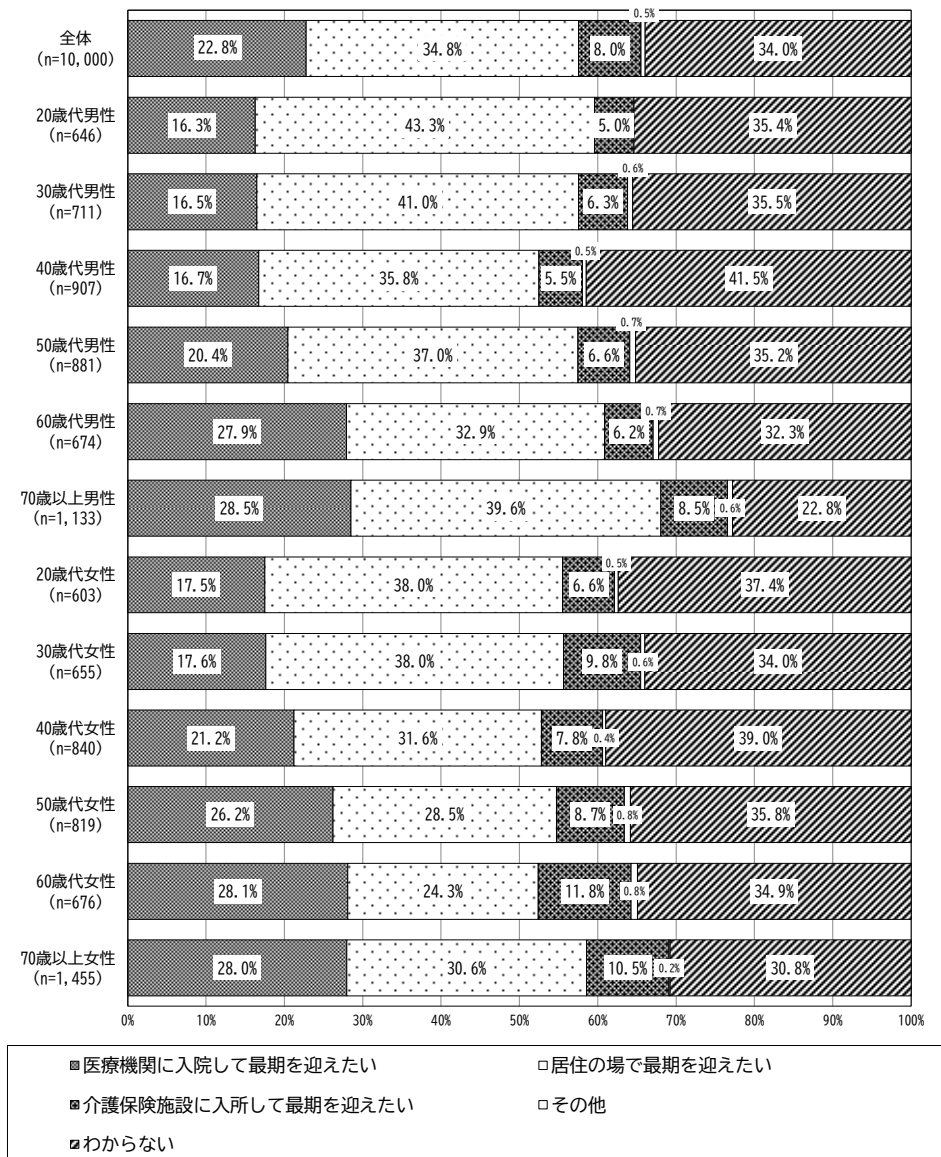
(1) 自身が最期を迎える場所の希望

あなたは将来、自分が最期を迎える場所として、医療機関（病院や診療所）と、居住の場（自宅や生活相談・見守りサービス付き高齢者向け住宅など）、介護保険施設（特別養護老人ホームなど）のどこを希望しますか、現時点のお考えに最もあてはまるもの1つをお選びください。【問 45（単数回答）】

○本設問の回答は、「居住の場で最期を迎えたい」（34.8%）、「わからない」（34.0%）」の順で多かった。

○最も回答割合の高かった「居住の場で最期を迎えたい」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は3～4割台、女性は2～3割台であった。

図表 11 自身が最期を迎える場所の希望



(2) 医療機関で最期を迎えたい理由

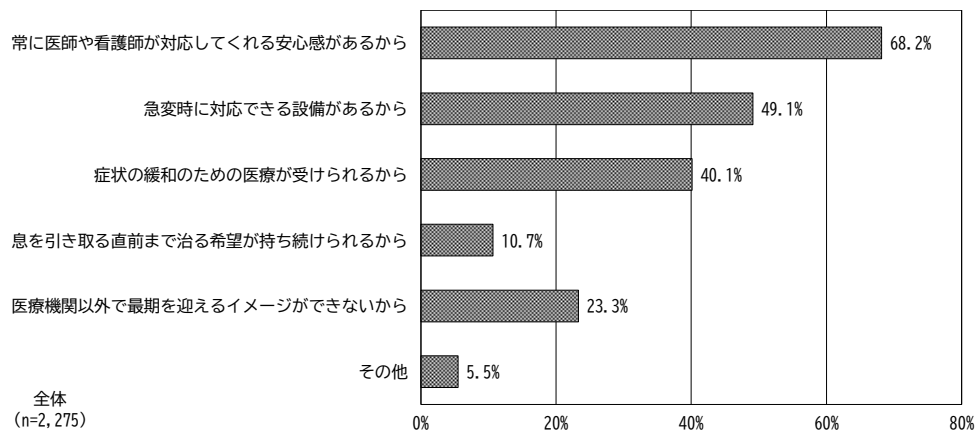
《「医療機関に入院して最期を迎えたい」と回答した方》

📌 医療機関で最期を迎えたい理由はなぜですか。当てはまるものすべてをお選びください。

【問 46 (複数回答)】

- 本設問の回答は、「常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから」(68.2%)、「急変時に対応できる設備があるから」(49.1%)の順で多かった。
- 最も回答割合の高かった「常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから」の内訳を性別・年齢区別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向(男性：5～7割台、女性：5～7割台)がみられた。

図表 12 医療機関で最期を迎えたい理由



	全体 (n=2,275)	20歳代男性 (n=105)	30歳代男性 (n=117)	40歳代男性 (n=152)	50歳代男性 (n=180)	60歳代男性 (n=188)	70歳以上男性 (n=323)	20歳代女性 (n=106)	30歳代女性 (n=115)	40歳代女性 (n=178)	50歳代女性 (n=215)	60歳代女性 (n=190)	70歳以上女性 (n=407)
常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから	68.2%	58.8%	55.8%	62.9%	68.2%	70.5%	77.2%	58.6%	61.4%	61.7%	63.6%	76.1%	73.8%
急変時に対応できる設備があるから	49.1%	36.8%	41.1%	41.9%	53.5%	46.4%	50.4%	43.1%	47.2%	43.9%	46.6%	53.1%	59.5%
症状の緩和のための医療が受けられるから	40.1%	27.9%	29.5%	29.9%	30.8%	34.8%	45.9%	30.2%	33.1%	39.8%	41.5%	44.5%	54.2%
息を引き取る直前まで治る希望が持ち続けられるから	10.7%	19.1%	14.7%	16.8%	9.1%	11.6%	9.6%	6.9%	15.0%	9.2%	5.5%	6.7%	11.3%
医療機関以外で最期を迎えるイメージができないから	23.3%	29.4%	23.3%	21.6%	26.8%	16.9%	19.7%	28.4%	20.5%	22.4%	19.9%	18.7%	30.4%
その他	5.5%	2.9%	7.8%	6.0%	4.5%	5.3%	4.2%	6.0%	10.2%	8.7%	9.7%	4.3%	2.4%

(3) 居住の場で最期を迎えたい理由

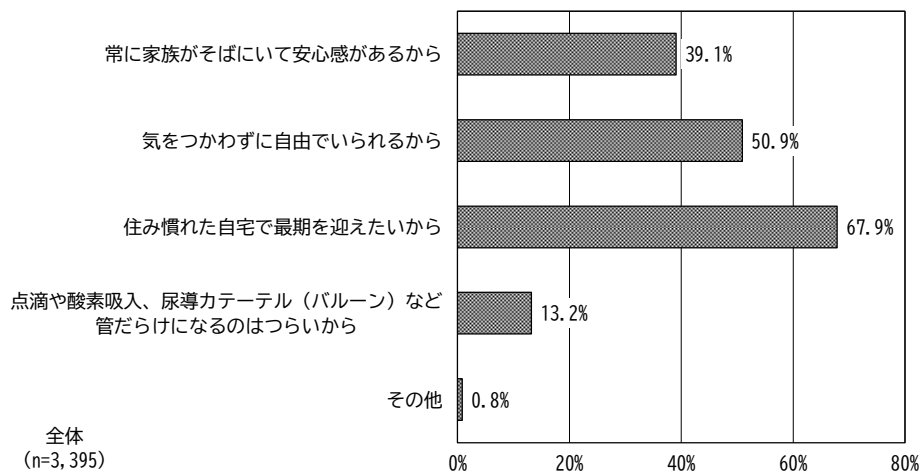
《「居住の場で最期を迎えたい」と回答した方》

📌 居住の場で最期を迎えたい理由はなぜですか。当てはまるものすべてをお選びください。

【問 47 (複数回答)】

- 本設問の回答は、「住み慣れた自宅で最期を迎えたいから」(67.9%)、「気をつかわずに自由でいられるから」(50.9%)の順が多かった。
- 最も回答割合の高かった「住み慣れた自宅で最期を迎えたいから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性・女性ともに年齢区分が上がるにつれて概ね増加傾向（男性：5～7割台、女性：6～7割台）がみられた。

図表 13 居住の場で最期を迎えたい理由



	全体 (n=3,480)	20歳代男性 (n=280)	30歳代男性 (n=292)	40歳代男性 (n=325)	50歳代男性 (n=326)	60歳代男性 (n=222)	70歳以上男性 (n=448)	20歳代女性 (n=229)	30歳代女性 (n=249)	40歳代女性 (n=265)	50歳代女性 (n=234)	60歳代女性 (n=165)	70歳以上女性 (n=445)
常に家族がそばにいて安心感があるから	39.1%	40.9%	40.5%	34.2%	36.2%	38.1%	43.8%	50.4%	56.9%	40.8%	33.1%	27.6%	28.8%
気をつかわずに自由でいられるから	50.9%	45.9%	55.5%	62.7%	49.3%	49.2%	45.2%	46.8%	51.5%	52.7%	49.4%	55.8%	50.0%
住み慣れた自宅で最期を迎えたいから	67.9%	55.2%	63.9%	66.4%	66.0%	67.2%	79.3%	65.9%	64.6%	64.4%	67.7%	71.3%	73.4%
点滴や酸素吸入、尿導カテーテル（バルーン）など管だらけになるのはつらいから	13.2%	11.0%	7.8%	8.4%	7.2%	9.8%	11.6%	13.9%	15.0%	16.1%	19.5%	22.1%	19.6%
その他	0.8%	0.6%	0.6%	0.3%	0.3%	0.8%	0.4%	0.4%	1.5%	1.7%	1.9%	1.7%	0.5%

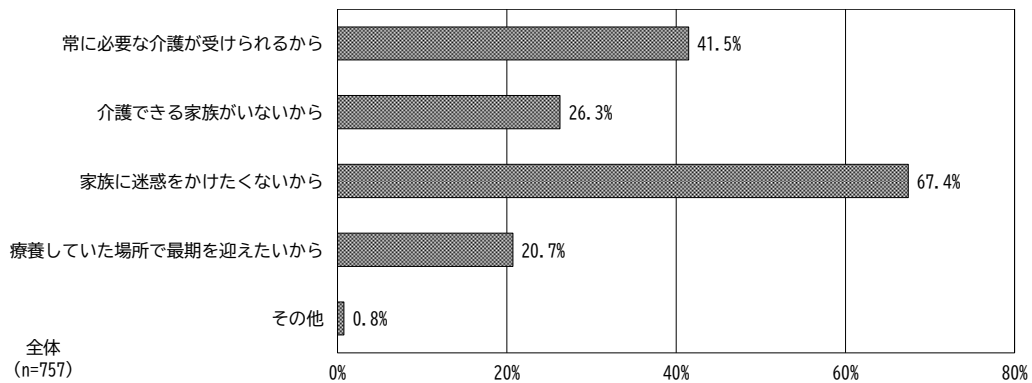
(4) 介護保険施設で最期を迎えたい理由

《「介護保険施設に入所して最期を迎えたい」と回答した方》

📌 介護保険施設で最期を迎えたい理由はなぜですか。当てはまるものすべてをお選びください。【問 48 (複数回答)】

- 本設問の回答は、「家族に迷惑をかけたくないから」(67.4%)、「常に必要な介護が受けられるから」(41.5%)の順が多かった。
- 最も回答割合の高かった「家族に迷惑をかけたくないから」の内訳を性別・年齢区分別にみると、男性は概ね増加傾向(3～7割台)、女性は6～8割台であり30歳代が8割台で最も多かった。

図表 14 介護保険施設で最期を迎えたい理由



	全体 (n=797)	20歳代男性 (n=32)	30歳代男性 (n=45)	40歳代男性 (n=50)	50歳代男性 (n=58)	60歳代男性 (n=42)	70歳以上男性 (n=96)	20歳代女性 (n=40)	30歳代女性 (n=64)	40歳代女性 (n=65)	50歳代女性 (n=71)	60歳代女性 (n=80)	70歳以上女性 (n=153)
常に必要な介護が受けられるから	41.5%	19.0%	20.4%	29.1%	35.9%	47.8%	51.9%	36.4%	45.1%	40.3%	50.0%	39.8%	47.6%
介護できる家族がないから	26.3%	19.0%	18.4%	40.0%	34.4%	26.1%	18.9%	11.4%	14.1%	29.2%	30.8%	31.8%	30.2%
家族に迷惑をかけたくないから	67.4%	38.1%	55.1%	45.5%	65.6%	63.0%	76.4%	68.2%	80.3%	73.6%	61.5%	68.2%	74.6%
療養していた場所で最期を迎えたいから	20.7%	38.1%	30.6%	23.6%	21.9%	10.9%	17.9%	15.9%	23.9%	6.9%	16.7%	22.7%	23.8%
その他	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	1.6%

付録. 二次医療圏別クロス集計

〔がんの予防等に関する状況や考え〕

がんの予防のために実践していること

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
たばこは吸わないようにする	60.4%	62.3%	60.4%	61.6%	59.5%	58.3%	58.1%	51.3%	58.3%	56.0%
お酒は飲まない、あるいは適量を守るようにする	38.0%	40.6%	37.7%	37.4%	36.2%	37.8%	39.9%	34.6%	39.8%	35.1%
塩辛いものは控えめにする	25.4%	25.7%	24.5%	26.2%	25.4%	27.1%	27.8%	22.1%	25.4%	22.4%
野菜・果物を十分とる	45.2%	45.9%	44.2%	45.0%	46.0%	47.3%	49.5%	46.2%	46.4%	40.3%
適度に運動をする	43.3%	43.3%	43.2%	44.0%	44.2%	43.7%	39.1%	49.1%	42.8%	40.8%
太り過ぎや、やせ過ぎにならないよう、適正な体重維持を心がける	37.5%	38.7%	37.3%	37.1%	35.3%	40.9%	39.3%	46.6%	36.0%	39.5%
肝炎ウイルスなどの検査を受ける	6.4%	6.1%	6.2%	6.9%	5.2%	8.7%	7.4%	10.1%	7.4%	5.3%
定期的ながん検診を受ける	31.8%	32.4%	32.2%	31.7%	30.9%	36.1%	29.5%	33.0%	30.0%	33.3%
子宮がんの予防のために、HPVワクチンを接種する	1.8%	1.8%	1.9%	2.0%	1.6%	3.3%	1.3%	0.0%	2.0%	1.2%
胃がんの予防のために、ピロリ菌検査や除菌を受ける	13.6%	14.4%	13.4%	14.0%	12.1%	18.2%	10.8%	9.4%	14.4%	16.6%
身体の異常に気がついたら、すぐに医療機関で受診する	28.3%	28.1%	27.0%	28.6%	30.8%	32.8%	28.0%	32.0%	28.5%	27.7%
その他	3.2%	2.9%	3.4%	3.7%	2.6%	2.5%	2.1%	3.8%	3.3%	2.1%

がん検診の受診状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
過去1年以内に受診したことがある	40.4%	37.1%	40.9%	41.3%	40.9%	47.6%	39.3%	37.7%	41.4%	40.7%
過去1年以内の受診はないが、2年以内に受診したことがある	8.3%	9.5%	9.4%	7.6%	7.5%	7.1%	7.8%	10.0%	4.2%	5.1%
過去2年以内の受診はないが、それ以前に受診したことがある	14.3%	16.8%	13.3%	12.6%	15.5%	13.5%	16.9%	10.1%	16.4%	14.3%
今までがん検診を受けたことがない	37.0%	36.5%	36.4%	38.5%	36.1%	31.9%	36.1%	42.2%	37.9%	39.9%

がん検診を受診しなかった理由

	全体 (n=5,127)	千葉 (n=876)	東葛南部 (n=1,646)	東葛北部 (n=1,267)	印旛 (n=561)	香取海匠 (n=84)	山武長生夷隅 (n=255)	安房 (n=50)	君津 (n=227)	市原 (n=162)
受ける時間がないから	22.7%	27.0%	22.1%	22.1%	20.4%	29.7%	23.6%	19.9%	19.3%	20.5%
お金がかかるから	30.9%	31.6%	29.3%	32.3%	31.9%	28.3%	31.2%	28.3%	32.2%	29.8%
検診をお知らせする手紙が届かないから	9.0%	8.4%	8.3%	9.3%	11.3%	13.5%	9.9%	0.0%	7.8%	8.4%
検査方法が痛いから	6.9%	8.6%	6.7%	7.2%	6.5%	3.3%	7.0%	7.2%	4.0%	3.4%
健康に自信があり、受ける必要性を感じないから	10.3%	10.6%	10.7%	9.8%	7.8%	12.7%	12.0%	12.0%	11.4%	12.0%
がんであると言われるのが不安だから	12.3%	12.5%	12.9%	11.5%	13.0%	12.7%	10.2%	9.0%	12.2%	12.0%
がん検診をどこでやっているのかわからないから	9.6%	8.6%	8.6%	11.1%	10.8%	11.3%	9.5%	9.0%	9.5%	8.8%
病院に定期的に通院しているから	13.2%	11.4%	11.5%	13.8%	15.9%	11.9%	18.3%	22.9%	14.3%	12.6%
すっかり忘れていたから	6.8%	7.8%	7.5%	5.2%	6.3%	6.1%	7.8%	9.0%	6.7%	7.3%
がん検診の対象年齢に達していないから	14.0%	12.0%	14.8%	14.9%	13.6%	12.7%	8.6%	13.4%	17.0%	17.7%
その他	6.5%	7.6%	6.2%	6.9%	6.3%	3.3%	6.2%	0.0%	6.3%	5.6%

新型コロナウイルス感染症の流行期間中におけるがん検診の受診控えの有無

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
ある	14.8%	15.7%	14.4%	14.5%	14.4%	16.7%	16.2%	23.3%	14.5%	14.1%
ない	85.2%	84.3%	85.6%	85.5%	85.6%	83.3%	83.8%	76.7%	85.5%	85.9%

がんに関する情報を得るために活用している情報源

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
新聞・雑誌（専門誌を含む）	28.7%	27.2%	27.5%	30.6%	31.6%	28.1%	27.4%	26.4%	27.3%	27.7%
書籍	9.3%	9.5%	9.5%	9.5%	9.2%	10.5%	6.1%	8.2%	8.1%	9.6%
テレビ・ラジオ番組	47.4%	45.4%	47.4%	47.7%	47.1%	44.4%	51.8%	43.4%	49.5%	50.5%
インターネット（各種ホームページ、SNS等）	57.8%	60.0%	59.0%	56.3%	53.4%	53.4%	58.3%	61.0%	60.3%	59.7%
（病院内などの）ポスター、パンフレット	17.1%	17.5%	15.9%	17.6%	18.0%	19.4%	20.6%	15.7%	16.7%	14.4%
通っている医療機関の医師	14.7%	15.8%	13.8%	15.1%	13.9%	16.9%	16.6%	18.9%	11.5%	17.3%
友人・知人	19.9%	18.7%	19.9%	19.9%	22.4%	23.3%	19.1%	29.3%	16.0%	19.1%
その他	3.4%	4.1%	3.4%	3.2%	3.7%	1.5%	2.6%	4.7%	3.2%	2.4%

「千葉県がん情報 ちばがんび」の認知状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
知っており、利用している	1.8%	1.8%	1.5%	2.4%	1.2%	3.1%	1.8%	4.4%	2.1%	0.9%
知っているが、利用したことはない	8.3%	11.1%	7.5%	6.7%	9.2%	8.9%	7.7%	12.6%	9.0%	11.0%
知らない	89.9%	87.1%	91.0%	90.9%	89.6%	88.0%	90.5%	83.0%	88.9%	88.1%

がんの治療と仕事の両立のために必要な支援・取組

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
勤務先の療養制度や時間短縮勤務等の充実	46.8%	49.0%	48.3%	45.1%	46.0%	45.8%	38.4%	44.3%	50.3%	44.2%
勤務先の上司、同僚、人事担当や産業医等のサポート	37.7%	39.0%	39.0%	36.3%	37.1%	33.9%	32.3%	34.0%	41.5%	37.2%
相談機関（がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院に設置）や地域産業保健センター等）のサポート	30.6%	33.2%	30.4%	30.2%	31.0%	29.4%	27.4%	24.8%	29.6%	28.3%
主治医や医療機関のサポート	50.2%	50.9%	51.7%	48.7%	51.4%	54.2%	47.5%	54.7%	45.0%	45.0%
がん経験者間の交流・相談の機会	12.4%	11.6%	12.5%	13.4%	11.1%	10.7%	12.6%	10.7%	13.3%	13.0%
両立は考えず、治療に専念する	23.7%	22.4%	23.2%	25.3%	23.6%	21.3%	27.6%	16.4%	22.1%	21.6%
職場には、がんであることは言いたくない	11.7%	12.1%	11.6%	10.8%	13.2%	15.1%	11.4%	10.1%	10.8%	14.0%
その他	3.6%	3.0%	3.1%	4.2%	3.0%	2.5%	5.2%	0.9%	4.9%	6.8%

がんに対する症状緩和に専念する場合に過ごしたい場所

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
なるべく早く（通院中の）医療機関に入院したい	18.2%	19.1%	18.3%	18.3%	16.3%	20.0%	17.7%	17.0%	20.2%	16.1%
なるべく早く緩和ケア病棟（終末期における体と心の苦痛緩和のための治療とケアを行う病棟）に入院したい	13.9%	14.3%	13.9%	14.1%	14.7%	10.5%	15.5%	8.2%	13.3%	9.5%
自宅で療養して、必要に応じて（通院中の）医療機関に入院したい	35.6%	35.0%	35.9%	34.5%	36.5%	34.3%	35.9%	39.6%	36.1%	39.9%
自宅で最期まで療養したい	11.9%	11.8%	11.2%	12.5%	10.6%	9.2%	15.1%	17.6%	11.4%	15.2%
老人ホーム、介護付き施設に入所したい	2.0%	2.5%	2.0%	1.8%	1.5%	2.3%	1.8%	3.5%	2.4%	1.2%
わからない	17.9%	16.8%	18.3%	18.3%	19.9%	23.1%	13.7%	14.1%	16.0%	17.7%
その他	0.4%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.0%	0.7%	0.3%

がんゲノム治療の認知状況

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
よく知っていた	4.7%	5.6%	4.6%	4.6%	4.7%	3.3%	3.1%	0.9%	4.5%	5.8%
言葉だけ知っていた	34.1%	33.7%	32.6%	34.0%	36.2%	32.8%	35.5%	40.0%	38.6%	35.7%
知らなかった	61.2%	60.8%	62.8%	61.3%	59.1%	63.9%	61.4%	59.1%	56.9%	58.5%

がん対策について県に期待すること

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
がんの予防・早期発見（がん検診）の提供体制の整備	65.2%	63.9%	65.5%	65.6%	66.9%	62.9%	64.4%	63.8%	64.2%	64.1%
がん医療に関わる医療推進体制の整備	48.4%	50.2%	49.6%	46.2%	50.8%	49.4%	46.6%	38.0%	44.8%	47.5%
がんに関する情報提供・相談支援	36.0%	38.0%	35.9%	35.3%	37.0%	35.6%	36.5%	30.5%	31.7%	37.5%
がん治療の推進（手術療法、薬物療法（抗がん剤治療）、放射線療法など）	41.5%	41.2%	41.9%	39.3%	44.7%	41.4%	47.9%	37.1%	37.1%	44.0%
緩和ケアの提供体制の整備	34.9%	34.6%	34.6%	35.2%	35.8%	31.0%	37.7%	40.3%	33.7%	33.8%
がん登録の推進	9.5%	9.7%	9.8%	9.9%	8.9%	9.5%	8.1%	7.5%	9.0%	8.9%
がんの在宅医療の体制整備	28.7%	29.6%	28.3%	27.9%	29.7%	23.2%	33.3%	28.3%	27.0%	29.3%
子どもや若年層からの教育	14.7%	16.6%	14.3%	14.4%	14.8%	15.8%	11.4%	13.9%	16.8%	13.2%
小児がん対策の充実	13.2%	14.8%	13.3%	12.6%	12.8%	13.2%	13.3%	9.1%	14.8%	10.0%
がん患者の就労支援	20.7%	21.7%	19.6%	21.6%	20.8%	23.1%	21.9%	18.6%	19.8%	17.9%
その他	2.4%	2.8%	1.8%	3.1%	2.1%	2.0%	2.1%	1.9%	3.0%	3.6%

〔最期を迎える場所の希望や理由について〕

自身が最期を迎える場所の希望

	全体 (n=10,000)	千葉 (n=1,641)	東葛南部 (n=3,316)	東葛北部 (n=2,478)	印旛 (n=1,086)	香取海匠 (n=185)	山武長生夷隅 (n=482)	安房 (n=96)	君津 (n=416)	市原 (n=298)
医療機関に入院して最期を迎えたい	22.8%	23.2%	22.3%	23.7%	23.3%	19.1%	20.2%	16.7%	22.0%	24.0%
居住の場で最期を迎えたい	34.8%	34.2%	33.4%	34.5%	33.1%	40.7%	40.0%	50.0%	38.7%	39.2%
介護保険施設に入所して最期を迎えたい	8.0%	8.8%	8.4%	7.2%	7.2%	10.3%	8.0%	8.5%	8.1%	5.8%
その他	0.5%	0.6%	0.5%	0.4%	0.6%	0.5%	0.8%	0.9%	0.7%	0.9%
わからない	34.0%	33.2%	35.4%	34.2%	35.8%	29.4%	31.1%	23.9%	30.5%	30.1%

医療機関で最期を迎えたい理由

	全体 (n=2,275)	千葉 (n=381)	東葛南部 (n=741)	東葛北部 (n=588)	印旛 (n=253)	香取海匠 (n=35)	山武長生夷隅 (n=97)	安房 (n=16)	君津 (n=92)	市原 (n=72)
常に医師や看護師が対応してくれる安心感があるから	68.2%	68.2%	64.2%	70.7%	72.7%	76.7%	60.1%	67.8%	75.2%	69.1%
急変時に対応できる設備があるから	49.1%	49.6%	46.9%	50.7%	55.9%	45.7%	44.5%	33.9%	52.8%	39.4%
症状の緩和のための医療が受けられるから	40.1%	41.6%	39.4%	38.5%	44.7%	43.2%	41.1%	66.1%	34.0%	36.9%
息を引き取る直前まで治る希望が持ち続けられるから	10.7%	11.6%	9.7%	10.1%	13.8%	7.8%	6.5%	5.7%	12.9%	14.9%
医療機関以外で最期を迎えるイメージができないから	23.3%	24.7%	23.7%	21.2%	23.1%	20.7%	23.3%	26.6%	25.4%	27.1%
その他	5.5%	4.8%	6.9%	4.2%	6.3%	2.6%	6.5%	0.0%	4.9%	5.1%

居住の場で最期を迎えたい理由

	全体 (n=3,480)	千葉 (n=562)	東葛南部 (n=1,108)	東葛北部 (n=856)	印旛 (n=360)	香取海匠 (n=75)	山武長生夷隅 (n=193)	安房 (n=48)	君津 (n=161)	市原 (n=117)
常に家族がそばにいて安心感があるから	39.1%	38.9%	38.8%	38.4%	43.0%	38.3%	39.0%	40.3%	39.3%	34.4%
気をつかわずに自由にいられるから	50.9%	49.0%	52.8%	51.8%	48.0%	45.5%	43.7%	50.9%	56.8%	52.1%
住み慣れた自宅で最期を迎えたいから	67.9%	67.7%	69.9%	64.0%	64.7%	70.5%	76.8%	69.7%	65.6%	73.3%
点滴や酸素吸入、尿管カテーテル（バルーン）など管だらけになるのはつらいから	13.2%	12.7%	14.1%	11.9%	14.2%	9.7%	13.9%	6.9%	13.4%	16.8%
その他	0.8%	1.0%	0.7%	1.0%	0.8%	0.0%	1.4%	0.0%	0.6%	0.0%

介護保険施設で最期を迎えたい理由

	全体 (n=797)	千葉 (n=144)	東葛南部 (n=279)	東葛北部 (n=179)	印旛 (n=78)	香取海匠 (n=19)	山武長生夷隅 (n=38)	安房 (n=8)	君津 (n=34)	市原 (n=17)
常に必要な介護が受けられるから	41.5%	41.7%	42.4%	40.6%	43.2%	17.6%	45.7%	55.6%	41.4%	36.8%
介護できる家族がいないから	26.3%	27.4%	29.1%	25.5%	19.8%	14.3%	29.9%	33.3%	18.1%	26.3%
家族に迷惑をかけたくないから	67.4%	68.8%	64.9%	69.5%	71.2%	63.4%	65.4%	55.6%	63.9%	78.9%
療養していた場所で最期を迎えたいから	20.7%	23.2%	17.5%	23.0%	25.7%	23.8%	22.8%	22.2%	13.5%	10.5%
その他	0.8%	1.3%	0.3%	1.4%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

第4期千葉県がん対策推進計画

令和6年4月策定

編集・発行 / 千葉県 健康福祉部 健康づくり支援課
電話043(223)2402・2686
〒260-8667
千葉県千葉市中央区市場町1-1

【県ホームページ】 <http://www.pref.chiba.lg.jp/kenzu/index.html>



第4期千葉県がん対策推進計画ロジックモデル(試案)

1 予防・早期発見

(1) 予防

#	個別施策	アウトプット指標
1	喫煙(受動喫煙を含む)に関する知識の普及啓発	街頭キャンペーンの実施回数や参加者数等
		啓発物資の作成数や配布数等
2	喫煙者の禁煙を支援	研修の実施回数や参加者数等
		禁煙治療に関するリーフレットの作成枚数や配布枚数等
		禁煙指導者研修会開催回数や参加者数等
		禁煙治療に関する情報のホームページ等への掲載状況
3	20歳未満の喫煙防止	喫煙防止の啓発物作成数や配布数等
4	妊婦の喫煙(受動喫煙を含む)防止	啓発物資の作成数や配布数等
5	受動喫煙対策の推進	啓発物資の作成数や配布数等
6	適正な食生活を実施しやすい環境整備	健康ちば協力店の登録数
7	ライフステージに応じた適正な食生活を送るための普及啓発	啓発物資の作成数や配布数等
8	栄養職員等への適正な食の提供に関する研修の実施	研修会開催数や参加者数等
9	保健所等の管理栄養士等の資質の向上	研修会開催数や参加者数等
10	飲酒の健康影響等の普及啓発	啓発物資の作成数や配布数等
11	妊産婦の飲酒防止	啓発物資の作成数や配布数等
12	運動等の健康への影響や効果の発信	県民への発信状況
13	運動に親しむ環境の整備	地域のウォーキングマップやオリジナル体操等の周知状況
14	生活に応じた運動・身体活動量の増加を支援する人材の増加	研修会の開催回数や参加者数等
15	がんの予防の知識の普及啓発	啓発物資の作成数や配布数等
		イベント実施状況(実施回数や参加者数等)
		県民への発信状況
		乳がん触診機型の配置状況

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標※	データソース
20歳以上の者の喫煙率の減少	男性の喫煙率 女性の喫煙率	男 性: 21.9% 女 性: 6.9% (令和3年度)	男 性: 12.0% 女 性: 5.0% (令和14年度)※	生活習慣に関するアンケート調査
20歳未満の者の喫煙をなくす	15~19歳の喫煙率	男 性: 1.6% 女 性: 1.2% (令和3年度)	0% (令和14年度)※	生活習慣に関するアンケート調査
妊娠中の喫煙をなくす	妊娠中の喫煙率	1.5% (令和3年度)	0% (令和14年度)※	妊娠届出時の聞き取り調査
望まない受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関: 2.1% 医療機関: 3.7% 職 場: 19.5% 家 庭: 5.0% 飲食店: 16.0% (令和3年度)	望まない受動喫煙のない社会の実現 (令和14年度)※	生活習慣に関するアンケート調査
食塩摂取量の減少(1日あたり)	男性平均摂取量 女性平均摂取量	男 性: 10.9g 女 性: 9.4g (平成27年度)	男 性: 7.5g 女 性: 6.5g (令和14年度)※	県民健康・栄養調査
野菜摂取量の増加(1日あたり)	野菜摂取量の平均値	308g (平成27年度)	350g (令和14年度)※	県民健康・栄養調査
果物摂取量の改善(1日あたり)	果物摂取量の平均値	—	200g (令和14年度)※	県民健康・栄養調査
生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を飲酒している者の減少(1日当たりの純アルコール摂取量)	男性 40g以上の割合 女性 20g以上の割合	男 性: 13.5% 女 性: 9.4% (令和3年度)	男 性: 10.0% 女 性: 6.4% (令和14年度)※	生活習慣に関するアンケート調査

※第4期千葉県がん対策推進計画(計画期間:令和6年度から令和11年度までは「健康ちば21(第3次)」(計画期間:令和6年度から令和17年度まで)と整合性を図っています。計画期間が異なりますが、目標値及び目標設定年(度)は健康ちば21(第3次)と同様としています。

最終アウトカム	最終アウトカム指標	データソース
基本目標① がんの年齢調整死亡率減少	がんの年齢調整死亡率(75歳未満、全年齢)	人口動態統計
基本目標② がん患者とその家族が、がんと向き合いながら、生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる地域共生社会を目指す		患者体験調査

(2) 早期発見

#	個別施策	アウトプット指標
16	がん検診の必要性や重要性などがんに関する正しい知識の普及啓発	啓発イベント実施状況(実施回数や参加者数等)
17	科学的かつ効果的な受診勧奨の推進及び市町村への好事例の共有	市町村等がん検診担当者研修会の開催状況(開催回数、参加者数、実施テーマ等)
		受診勧奨実施市町村数
18	「職場におけるがん検診実施状況調査」を踏まえた受診率向上施策の検討	検討中
19	全国健康保険協会と市町村の連携による特定検診とがん検診の同時実施の普及に向けた連携体制の構築	特定検診とがん検診を同時実施する市町村数
20	県全体におけるがん検診の精度管理の向上	集団検診機関及び個別検診機関におけるがん検診精度管理調査において評価がAまたはBの機関数
		市町村におけるがん検診精度管理調査における実施率
		医師等を対象とした従事者研修会の実施状況(実施回数、参加者数)
21	国の指針に基づいたがん検診の実施を推進	指針に基づかないがん検診を実施している市町村数 指針に基づかないがん検診の中止市町村数

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
がん検診の受診率向上	胃がん(50~69歳)	49.8% (令和4年)	60% (令和10年)	国民生活基礎調査
	肺がん(40~69歳)	52.2% (令和4年)	60% (令和10年)	
	大腸がん(40~69歳)	46.2% (令和4年)	60% (令和10年)	
	乳がん(40~69歳、過去2年)	55.0% (令和4年)	60% (令和10年)	
	子宮頸がん(20~69歳、過去2年)	47.5% (令和4年)	60% (令和10年)	
精密検査受診率の向上	胃がん	85.2% (令和2年度)	90% (令和10年)	地域保健・健康増進事業報告
	肺がん	83.3% (令和2年度)	90% (令和10年)	
	大腸がん	67.3% (令和2年度)	90% (令和10年)	
	乳がん	91.7% (令和2年度)	90% (令和10年)	
	子宮頸がん	77.9% (令和2年度)	90% (令和10年)	

2 医療

(1) がん医療の充実

#	個別施策	アウトプット指標
22	がん診療連携拠点病院等を中心とした医療提供体制の推進	千葉県がん診療連携協議会開催数
23	手術療法の推進	千葉県がん診療連携協議会地域連携・臓器別腫瘍専門部会開催数
24	放射線療法の推進	千葉県がん診療連携協議会地域連携・臓器別腫瘍専門部会開催数
25	薬物療法の推進	千葉県がん診療連携協議会地域連携・臓器別腫瘍専門部会開催数
26	患者の状況に応じたチーム医療の推進	院内のチーム医療提供体制(現況報告書)
27	がんのリハビリテーション	リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されているがん診療連携拠点病院の割合(現況報告書)
28	支持療法	がん相談支援センターでのアピアランスケアの相談件数(現況報告書)
29	地域に移行した患者を支える医療圏単位の連携体制の構築	緩和ケアに関する地域連携を推進するために、地域の施設が開催する多職種連携カンファレンスに参加した年間回数(現況報告書)
30	がんゲノム医療提供体制づくりの検討	千葉県がん診療連携協議会がんゲノム医療専門部会開催数
31	緩和ケア研修の充実	緩和ケア研修会受講者数(医師・歯科医師、その他の職種)
32	相談や支援を受けられる体制の強化	拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院の緩和ケアチーム新規診療症例数(現況報告)
		拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院の緩和ケア外来患者数(院内・院外)(現況報告)
		拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院の緩和ケア病棟患者数(新入院患者数・死亡患者数)(現況報告)
33	拠点病院等における緩和ケア提供体制の充実	千葉県がん診療連携協議会緩和医療専門部会開催数
34	(妊孕性温存療法の推進)がん・生殖医療に関する人材育成の推進	がん・生殖医療の意思決定支援に関する人材育成を実施している拠点病院の割合
35	(妊孕性温存療法の推進)がん・生殖医療に関する相談支援体制の整備	相談支援センターにおける妊孕性に係る相談件数

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
がん診療連携拠点病院等における、がん医療の質向上	PDCAサイクル実施件数	16件(令和4年度)	増加する(令和8年度)	千葉県がん診療連携協議会資料
がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修を修了した医師数の増加	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会を修了した医師数	拠点病院等: 4,340名(令和5年3月までの累計) 拠点病院以外: 1,418名(同上)	増加する(令和8年度)	研修修了者数(医師・歯科医師)
がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修を修了した医療従事者の増加	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会を修了した医療従事者	1,874名(令和5年3月までの累計)	増加する(令和8年度)	研修修了者数(医師・歯科医師以外)
緩和ケアチームへの年間依頼件数の増加	緩和ケアチームへの年間依頼数	5,873件(令和3年度)	増加する(令和8年度)	千葉県がん診療連携協議会緩和医療専門部会による調査、現況報告

(2) 希少がん・難治性がん

#	個別施策	アウトプット指標
36	患者やその家族の目線に立ったわかりやすい情報提供を推進	小児がん診療医療機関実態調査結果
37	専門家による適切な集学的治療が提供されるよう、他の拠点病院等及び地域の医療機関との連携及び情報提供ができる体制を整備	妊孕性温存療法実施件数

(3) 小児がんおよびAYA世代のがん

#	個別施策	アウトプット指標
38	小児がんの対策	小児がん診療医療機関実態調査結果
39	AYA世代のがんの対策	妊孕性温存療法実施件数

(4) 高齢者のがん対策

#	個別施策	アウトプット指標
40	適切ながん医療を受けられるよう、地域の医療機関及び介護事業所と治療・緩和ケア・看取り等において連携体制の整備	地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の割合

(5) 口腔ケアに関する医科歯科連携

#	個別施策	アウトプット指標
41	がん患者が継続した口腔ケアを受けるための医科歯科連携の取り組み	千葉県がん診療連携協議会口腔ケア専門部会開催数
42	口腔ケアの重要性についての普及啓発	啓発物資の作成数や配布数等

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
口腔ケアの地域医療連携	口腔ケアの地域医療連携を行っているがん診療連携拠点病院等の施設数	10病院(令和4年度)	増加する	千葉県がん診療連携協議会資料

3 がんとの共生

(1) 相談・情報提供

#	個別施策	アウトプット指標	中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
43	がん相談支援センターの機能の充実	研修の受講者人数	がん相談支援センターの認知度向上	がん相談支援センターの認知度	病院利用 60% 患者会員 83% (令和5年度)	増加する	千葉県がん対策に関するアンケート調査
44	がん相談支援センターの認知度向上及び利用促進	新規の相談件数	がん相談支援センターの相談件数の増加	がん相談支援センターの相談件数	22,049件 (令和3年)	増加する	現況報告書
45	がん経験者等の参画による相談支援の充実	ピア・サポーターズサロンちばの開催回数 ピア・サポーターズ人数	がん相談支援センター利用者 の満足度向上	がん相談支援センター 利用者の満足度	病院利用 91% 患者会員 96% (令和5年度)	増加する	千葉県がん対策に関するアンケート調査
46	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」「千葉県がんサポートブック」の周知と充実	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の啓発回数、更新回数	ピア・サポーターの活動の 場の拡大	サロン開催病院数	平成30年度16箇所 (対面開催) 令和4年度24回 (リモートサロン)	拡大する	「ピア・サポーターズ サロンちば」の開催実績
47	患者の生活を支援する情報の提供	「ちばがんナビ」の更新回数	「千葉県がん情報ちばがん ナビ」の認知度の増加	「千葉県がん情報ちばがん ナビ」の認知度	一般県民10.1% がん患者(病院利用) 7% がん患者(患者会員) 53% (令和5年度)	50%	千葉県がん対策に関するアンケート調査

(2) 地域緩和ケアの推進

#	個別施策	アウトプット指標	中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
48	地域の状況に応じた地域緩和ケアの提供体制の構築	拠点病院等1施設あたりの地域連携推進のための多施設合同会議の開催数	住まいの場での死亡割合	住まいの場での死亡割合	28.5% (令和3年) 16.9% (令和元年)	維持する	千葉県衛生統計年報
49	地域緩和ケアに携わる医療・介護従事者の人材育成と連携強化	在宅緩和ケアに関する研修会 (千葉県がんセンター委託事業)	がん患者の看取りをする 在宅療養支援診療所及び一 般診療所数の増加	がん患者の看取りをする 在宅療養支援診療所及び一 般診療所数	136か所 (令和4年度)	増加する	緩和ケアに関する 社会資源調査
50	在宅緩和ケアに関する情報提供、相談支援の充実	緩和ケアに関する社会資源調査	がん患者の看取り対応がで きる訪問看護事業所数の増 加	がん患者の看取り対応が できると回答した訪問看 護事業所数	248か所 (令和4年度)	増加する	緩和ケアに関する 社会資源調査
			がん患者の看取り対応がで きると回答した介護施設 数の増加	がん患者の看取り対応が できると回答した介護施 設数	467か所 (令和3年度)	増加する	緩和ケアに関する 社会資源調査

(3) がん患者のサバイバーシップ支援

#	個別施策	アウトプット指標
51	拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労支援	専門家による相談会の開催回数
52	「千葉県地域両立支援推進チーム」における取り組み	千葉県地域両立支援推進チーム協議会の参加数
53	就労支援・両立支援に関する周知	リーフレットの配布数
54	就労に関するニーズや課題についての実態調査	実態調査の実施数
55	千葉県がん患者アビランスクエア支援事業	市町村からの申請数

(4) ライフステージに応じた療養生活への支援

#	個別施策	アウトプット指標
56	医療・教育・就労・福祉全般に渡る相談支援・情報提供体制の整備	千葉県小児がん診療医療機関実態調査
57	小児がんにおけるピア・サポート活動	講演会参加者数
		交流会参加者数
58	長期フォローアップ体制の検討	千葉県がん診療連携協議会 小児がん専門部会開催数
59	若年がん末期がん患者への在宅療養支援	市町村からの申請数

4 がん診療を支える基盤の整備

(1)がん研究

#	個別施策	アウトプット指標
60	基礎研究・橋渡し研究	検討中
61	臨床研究(臨床試験・治験)の促進	検討中
62	がん予防のための疫学研究	検討中

(2)人材育成の強化

#	個別施策	アウトプット指標
63	拠点病院等におけるチーム医療を支援するため、専門職種ごとの研修を充実させ、多職種協働が可能な人材の育成	千葉県がん診療連携協議会 教育専門部会開催数

(3)がん教育の推進

#	個別施策	アウトプット指標
64	がんに関する正しい知識、がん患者への理解を通じ、健康と命の大切さに対する認識を深めるためのがん教育を推進	外部講師派遣回数
65	事業者や商工団体等に対する従業員に長く働き続けてもらうために必要ながんに関する正しい知識の積極的な普及啓発	リーフレットの配布数

(4)がん登録

#	個別施策	アウトプット指標
66	全国がん登録の確実な運用	全国がん登録システムへの入力件数
67	全国がん登録の情報の活用	申請件数 事業報告書の作成
68	院内がん登録の精度向上	院内がん登録実務者研修会の参加人数等
69	院内がん登録データの分析と公表	院内がん登録集計の公表

中間アウトカム	中間アウトカム指標	策定時	目標	データソース①
全国がん登録によるDCO率の減少	全国がん登録によるDCO率	1.6% (令和元年)	減少する	全国がん罹患 モニタリング集計
国の標準様式に基づく院内がん登録の実施医療機関数の増加	国の標準様式に基づく院内がん登録の実施医療機関数	41 (令和3年)	増加する	千葉県がん診療連携 協議会

(5)患者・市民参画の推進

#	個別施策	アウトプット指標
70	がん対策審議会及び部会において、患者団体の委員からの意見を聴取し、患者アンケート等により患者ニーズを把握し、施策に反映	患者アンケートの実施回数

(6)デジタル化の推進

#	個別施策	アウトプット指標
71	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の周知(3がんとの共生(1)相談・情報提供より再掲)	「千葉県がん情報 ちばがんナビ」の啓発回数(3がんとの共生(1)相談・情報提供より再掲)

(7)感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策

#	個別施策	アウトプット指標
72	感染症発生・まん延時や災害時等の状況下においても、必要ながん医療を提供できるよう、診療機能の役割分担や各施設が協力した人材育成や応援体制の構築等、地域の実情に応じた連携体制を整備する取組を平時から推進	BCPを策定している拠点病院等の割合